
熊本県立美術館年報 ■ 平成 25 年度

は じ め に

熊本県立美術館の運営につきましては、日頃からご支援とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。平成 25 年度の展覧会事業、美術品等の収集活動、教育普及活動などの概要をまとめましたので、ご高覧いただければ幸いに存じます。

当館の根幹をなすコレクションの展示につきましては、「細川コレクション」と「美術館コレクション」の 2 分野ともにテーマを設定した「特集展示」を展開しました。細川コレクションでは、第Ⅰ期「大観と春草」、第Ⅱ期「工芸にみる日本の意匠」、第Ⅲ期「幕末の肥後一黒船来航の衝撃」、第Ⅳ期「馬の美術」をテーマに特集し、また美術館コレクションでは、第Ⅰ期「新収蔵品」、第Ⅱ期「義尹と大智、肥後の禅宗」、第Ⅲ期「今西コレクション名品展」、第Ⅳ期「ポップ・アートとアメリカ版画」の各テーマに焦点を当て、多岐にわたる幅広い視点からコレクションの紹介に取り組みました。多彩なジャンルの魅力を際立たせるこの企画方式は、古今東西の美術・文化を取り扱う「総合美術館」としての当館の立ち位置をあらためて明確に示すものとなりました。

また特別展では、藤田嗣治の渡仏 100 周年を記念する特別展「レオナルド・フジタとパリ―芸術の都に愛された画家」を企画・発案し全国の美術館へと展開するなか、当館では熊本日日新聞社とRKK熊本放送との共催で開催しました。本展を実施した 2013 年の夏は藤田嗣治がパリに渡ってちょうど 100 年を迎えた時期であり、「世界のフジタ」誕生の物語を紹介する時宜を得た企画となりました。またTKUテレビ熊本に名義共催する形で「北斎展―世界が絶賛した浮世絵師―」と「山下清展―放浪の天才画家―」を開催しました。

収集活動においては、平成 23 年度に改訂した「熊本県立美術館の収集方針・収集計画」に基づいて美術品等の購入・寄贈・寄託を推進しました。購入作品としては細川忠興ゆかりの能面《白式尉》、加藤清正宛ての《豊臣秀吉朱印状》、キュビズムの画家アンドレ・ロートの《麦藁帽子を被ったマルグリット》、坂本善三の《静物》など 7 件 8 点を取得し、また 1 件の寄贈と 4 件の寄託を受けて、収蔵品の一層の充実を図ることができました。

教育普及活動では、特別展に関する記念講演会をはじめ、ミュージアムセミナー、子ども美術館、スクールミュージアム、実技講座など各種事業を実施し、各方面でご好評をいただいております。また調査研究活動としては、公益財団法人永青文庫からの預かり品調査を引き続き実施しており、平成 25 年度は 3 ヶ年に渡った能面・能道具類の調査を終了し、「永青文庫所蔵資料調査報告書第二集―能面と能道具―」を刊行しました。併せて、大名調度類の調査に着手したところです。

昭和 51 年（1976 年）に開館した当館は、2 年後の平成 28 年（2016 年）に開館 40 周年を迎えます。記念すべきこの節目に向けて、本県の芸術文化振興の拠点として多彩な魅力に満ちた美術館をめざしてまいりますので、皆様方のさらなるご支援とご協力を心よりお願い申し上げます。

平成 26 年 12 月 吉日

熊本県立美術館長 横田 堅

目次

I 沿革 1

II 施設・設備

■施設・設備の概要 4

III 事業の概要

■平成25年度年間スケジュール 9

■展覧会記録 11

■浜田知明室 23

■装飾古墳室 25

■教育普及 26

IV 資料

■観覧者状況及び事業報告 31

■収蔵品の概要 39

■購入・寄贈図書目録 44

■委員会等名簿 45

■その他 47

I 沿革

昭和43年 3月25日	県議会において文化資料調査費予算50万円可決
昭和43年 5月10日	「熊本県文化資料調査実施要領」制定
♪ 44年 3月 3日	松本喜八氏兄弟から亡父（嘉平次氏）の遺志により美術館建設基金として1千万円寄附
♪ 44年 7月 1日	「熊本県立美術館基金条例」公布 1億円の積立
♪	県議会において美術館建設調査費予算100万円可決
♪ 44年 8月 6日	「熊本県立美術館建設促進協力会」発足
♪ 45年 5月10日	「昭和44年度熊本県立美術館建設調査報告書」作成
♪ 45年 6月 2日	「熊本県立美術館建設準備委員会設置要項」制定
♪ 45年12月 8日	建設準備委員会より「美術館建設に関する答申書」の提出
♪ 46年 3月20日	「熊本県立美術館建設委員会」発足
♪	「熊本県立美術館建設準備室」設置
♪ 46年 5月17日	美術館建設委員会で美術館敷地を現在地に選定
♪ 46年 9月20日	建設委員会より「美術館収集に関する意見書」の提出
♪ 46年 9月30日	「装飾古墳調査報告書」作成
♪ 47年 4月 1日	前川国男建築設計事務所に美術館設計委託
♪ 47年 8月31日	熊本城二の丸史跡調査完了
♪ 47年10月31日	美術館基本設計完了
♪ 48年 3月31日	美術館実施設計完了
♪	美術館建設敷地の樹木調査完了
♪ 48年 9月17日	装飾古墳レプリカ制作委託
♪ 48年12月 8日	チブサン古墳石屋形模型製作委託
♪ 49年 5月17日	美術館建設着工
♪ 50年 5月24日	美術館定礎
♪ 50年 7月 1日	「熊本県立美術館条例」公布
♪ 50年 9月14日	美術館本体工事完了
♪ 51年 1月31日	美術館外構工事完了
♪ 51年 2月24日	美術館工事落成
♪ 51年 3月 4日	美術館開館
♪ 52年 1月24日	美術館別館（多目的室棟）着工
♪ 52年 9月10日	別館（多目的室棟）竣工
♪ 54年 6月28日	「熊本県美術品取得基金条例」公布
♪ 60年 4月 1日	美術館条例（観覧料）の改正
♪ 61年 3月25日	美術館屋外排水設備改修工事完了

昭和61年 6月 4日	第35回全国美術館会議総会開催
平成元年 4月 1日	美術館条例（観覧料等）の改正
ㄥ 2年 4月 1日	美術館条例（観覧料等）の改正
ㄥ 3年10月 1日	美術館分館着工
ㄥ 4年 5月	野田壁画室工事完了
ㄥ 4年10月 1日	美術館条例（使用料）の改正
ㄥ 4年10月 9日	美術館分館工事完了
ㄥ 4年10月20日	美術館分館開館
ㄥ 4年12月19日	収蔵庫増設工事着工
ㄥ 4年12月27日	やさしいまちづくり事業（エレベーター増設等）工事着工
ㄥ 5年 4月 1日	美術館条例（観覧料）の改正
ㄥ 5年10月15日	やさしいまちづくり事業（エレベーター増設等）工事完了
ㄥ 6年 1月 3日	収蔵庫増設工事完了
ㄥ 8年 3月	ハイビジョンミュージアムシステム設置
ㄥ 8年 4月 1日	美術館条例（使用料）の改正
ㄥ 8年11月	美術館本館空調設備、展示室改修工事着工
ㄥ 9年 8月	美術館本館空調設備、展示室改修工事完了
ㄥ 10年 4月 1日	美術館条例（観覧料）の改正
ㄥ 11年 4月 1日	美術館条例（使用料）の改正
ㄥ 11年 6月28日	障害者の社会的活動への参加の促進のための関係条例の整備に関する条例公布（観覧料減免）
ㄥ 11年 8月18日	美術館利用規則（休館日等）の改正
ㄥ 11年10月23日	行幸啓
ㄥ 12年 6月21日	「熊本県立美術館振興計画策定委員会」設置
ㄥ 13年 3月	開館25周年記念「蒙古襲来絵詞展」開催
ㄥ 13年 4月 1日	美術館条例（使用料）の改正
ㄥ 14年 1月16日	「熊本県立美術館振興計画策定委員会」より館長に建議
ㄥ 14年 1月31日	館長から美術館協議会に諮問 美術館振興計画として決定「ミュージアムプランくまもと21～開館25年100の提案～」
ㄥ 14年 2月	美術館本館屋上防水工事着工
ㄥ 14年 3月	美術館本館屋上防水工事完了
ㄥ 16年 2月 2日	美術館本館渡廊下、屋外喫茶フロアー通路スロープ化工事着工
ㄥ 16年 3月17日	美術館本館渡廊下、屋外喫茶フロアー通路スロープ化工事完了
ㄥ 17年12月 8日	非常用自家発電機更新工事着工
ㄥ 18年 3月17日	非常用自家発電機更新工事完了
ㄥ 18年 8月	開館30周年記念「エコール・ド・パリ展」開催

平成18年10月	開館30周年記念「熊本県立美術館名品展－精華－」開催
♪ 18年11月 1日	美術館利用規則（開館時間）の改正
♪ 18年11月10日	美術館本館 第6回 JIA25年賞大賞受賞
♪ 19年 1月 5日	美術館分館展示室1、2、3クロス塗装工事着工
♪ 19年 1月 8日	美術館分館展示室1、2、3クロス塗装工事完了
♪ 19年 1月30日	美術館本館1、2階展覧会場クロス張り替え工事着工
♪ 19年 3月30日	美術館本館1、2階展覧会場クロス張り替え工事完了
♪ 19年 6月25日	永青文庫展示室整備建築工事着工
♪ 19年10月 3日	美術館条例（使用料、観覧料等）の改正（H20.4.5施行）
♪ 19年11月26日	美術館本館搬入用エレベーター改修工事着工
♪ 19年12月18日	美術館本館講堂床・電灯設備改修工事着工
♪ 20年 2月29日	永青文庫展示室整備建築工事完了
♪ 20年 3月14日	美術館本館講堂床・電灯設備改修工事完了
♪ 20年 3月17日	美術館本館搬入用エレベーター改修工事完了
♪ 20年 4月25日	細川コレクション永青文庫展示室開館
♪	開館記念展「細川歴代の文と武と美」開催 （第1部、第2部：4.25～12.24）
♪ 21年 9月17日	美術館本館冷凍機オーバーホール工事着工
♪ 21年10月 9日	美術館条例（指定管理者制度の導入）の改正（H22.4.1 施行）
♪ 21年10月24日	美術館本館冷凍機オーバーホール工事完了
♪ 21年12月24日	美術館本館氷蓄熱槽ほか空調設備整備工事着工
♪ 21年12月30日	美術館本館氷蓄熱槽ほか空調設備整備工事完了
♪ 22年 4月 1日	美術館分館指定管理者制度導入
♪ 22年 4月28日	美術館条例（観覧料の減免）の改正
♪ 22年12月22日	美術館条例（利用の許可の基準等）の改正（H23.4.1 施行）
♪ 23年 8月18日	美術館永青文庫展示室拡充改修工事着工
♪ 24年 2月28日	美術館トイレ改修工事着工
♪ 24年 3月 6日	美術館条例（協議会）の改正（H24.4.1 施行）
♪ 24年 3月28日	美術館トイレ改修工事完了
♪ 24年 3月30日	美術館永青文庫展示室拡充改修工事完了
♪ 24年10月31日	美術館本館非常灯用直流電源装置修繕工事着工
♪ 25年 1月15日	美術館本館非常灯用直流電源装置修繕工事完了
♪ 25年 3月15日	美術館条例施行規則（使用料の返還）の改正（H25.4.1 施行）
♪ 25年11月 8日	美術館本館防災設備改修工事着工
♪ 25年12月27日	美術館本館事務室屋上改修工事着工
♪ 26年 2月28日	美術館本館防災設備改修工事完了
♪ 26年 3月14日	美術館本館事務室屋上改修工事完了

Ⅱ 施設・設備

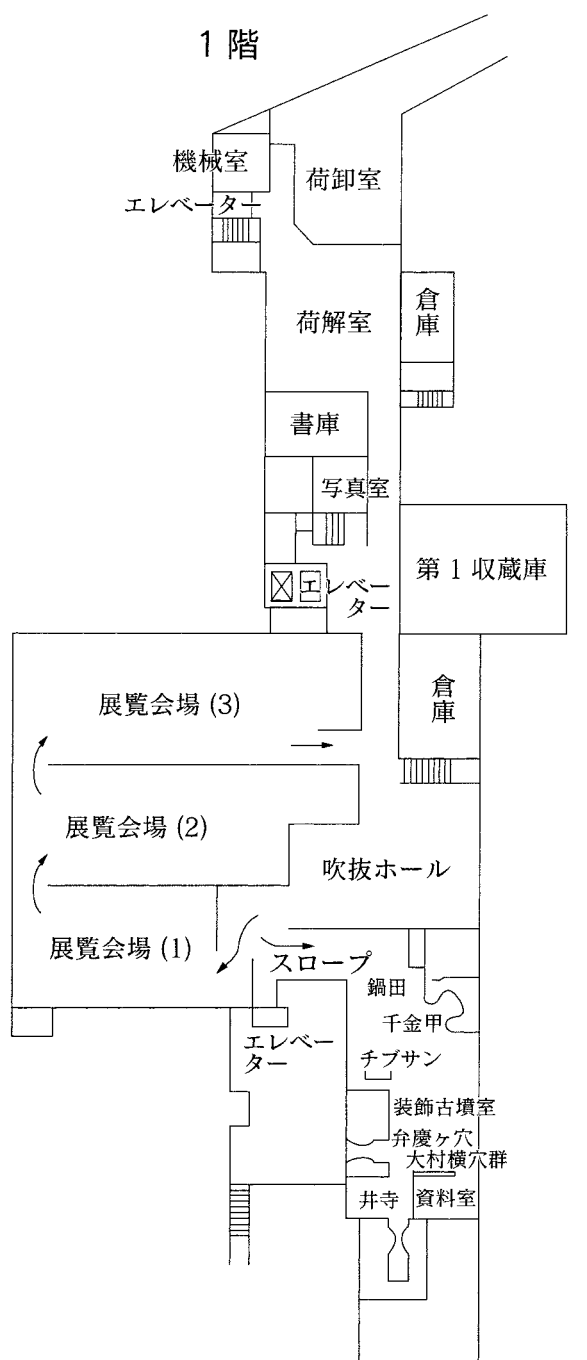
■施設・設備の概要

		本 館	分 館
所 在 地		熊本市中央区二の丸 2 番	熊本市中央区千葉城町 2 番 18 号
設 計 監 理		(株) 前川国男建築設計事務所	トレース&ラベニア・大和設計共同体
施 工 業 者	建 築	(株) 間組「酒井建設工業 (株)」	浅沼組・坂口建設建設工事共同企業体
	電 気	(株) 九州電気工事「村上電気工事 (株)」	太陽電気 (株)
	空 調	(株) 大阪電気暖房「協電機工 (株)」	上田商会・三祐建設建設工事共同企業体
	衛 生	(株) 日栄工業「(株) 西山商会」	広域設備工業 (株)
工 期		昭和 49 年 5 月 17 日～昭和 51 年 1 月 31 日 「平成 4 年 12 月 19 日～平成 6 年 1 月 3 日」	平成 3 年 10 月 1 日～平成 4 年 10 月 9 日
面 積	敷地面積	14,200.00㎡	4,071.43㎡
	建築面積	3,446.40㎡	1,797.15㎡
	延床面積	7,942.85㎡	5,084.62㎡
構 造		鉄筋コンクリート造	鉄筋コンクリート造
		地下 1 階、地上 3 階	地下 1 階、地上 4 階、塔屋 1 階
仕 上	外 壁	珧炉器質打込タイル	石張り (会津石)
	屋 根	軽量コンクリート、保護モルタル	銅版張り
設 備	電気設備	契約電力 516 K W、自家発電装置	契約電力 460 K W
	空調設備	ターボ冷凍機、空調 7 系統	空冷式冷凍機、空調機 7、空調機 16
	衛生設備	上下水道使用、受水槽 30㎡	上下水道使用、受水槽 35㎡
	昇降設備	エレベーター 3 基 (乗用 1、荷物用 2) ダムウェーター 1 基	エレベーター 2 基 (乗用 1、荷物用 1) エスカレーター 3 基
	そ の 他	屋内消火栓、炭酸ガス消火設備 ハロンガス消火設備	屋内消火栓、ハロンガス消火設備

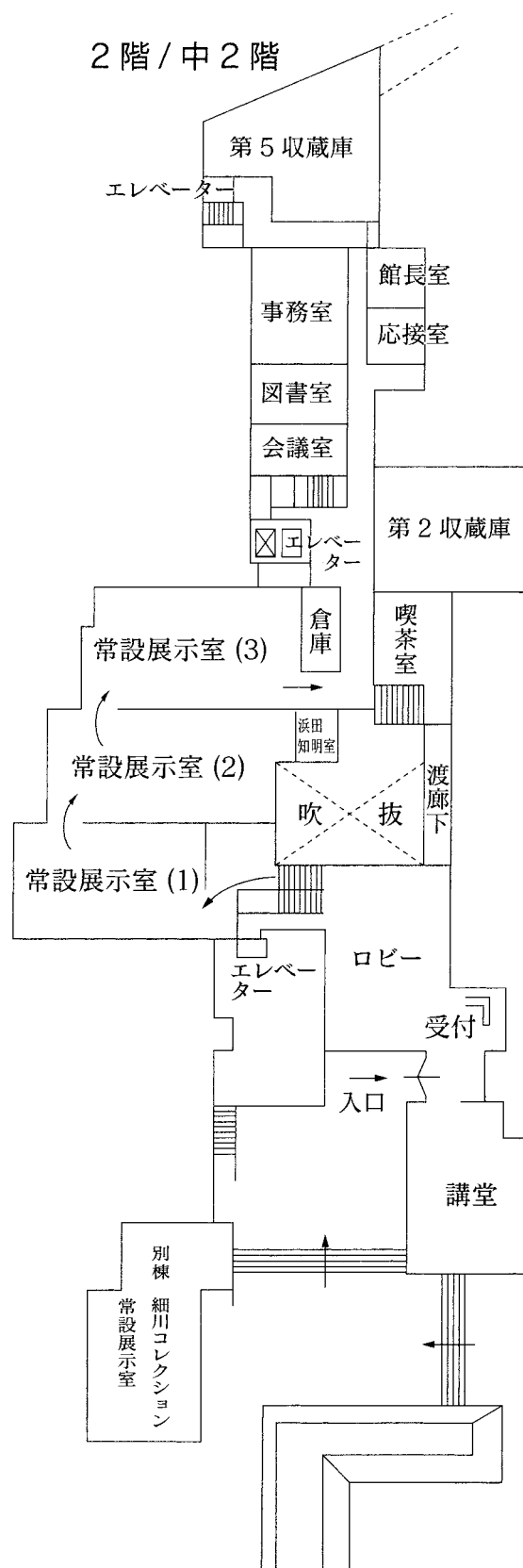
部門別面積

本 館				分 館			
部 門	室 名	室数	面積 (㎡)	部 門	室 名	室数	面積 (㎡)
展 示 室	装 飾 古 墳 室	1	339.37	展 示 室	展 示 室	3	933.47
	常 設 展 示 室	3	902.98		ギ ャ ラ リ ー	1	158.20
	展 覧 会 場	3	1072.64		彫 刻 広 場	1	56.00
	小 計		2314.99		小 計		1147.67
収 蔵 室	収 蔵 庫	5	1062.51	収 蔵 室	収 蔵 室	1	149.42
利用施設	講 堂	1	176.56	利用施設	フ ロ ン ト ホ ー ル	1	62.30
	ロ ビ ー	1	361.69		図 書 室	1	71.44
	吹 抜 ホ ー ル	1	361.04		A V 室	1	79.20
	喫 茶 室	1	88.47		喫 茶 室 休 憩 室	1	154.21
	そ の 他	1	43.41		ロ ッ カ ー 室	1	11.56
	小 計		1031.17		救護室／授乳室	1	9.24
別棟 細川コレクション 常設展示室	展 示 室	1	160.20		売 店	1	20.00
	そ の 他	1	186.60		小 計		407.95
	小 計		346.80	事務管理	事 務 室 ・ 他		177.99
事務管理	事 務 室 ・ 他		2434.51		機 械 室	4	338.80
	機 械 室	2	752.87		倉 庫 そ の 他		2862.79
	小 計		3187.38		小 計		3379.58
	計		7942.85		計		5084.62

美術館本館見取図

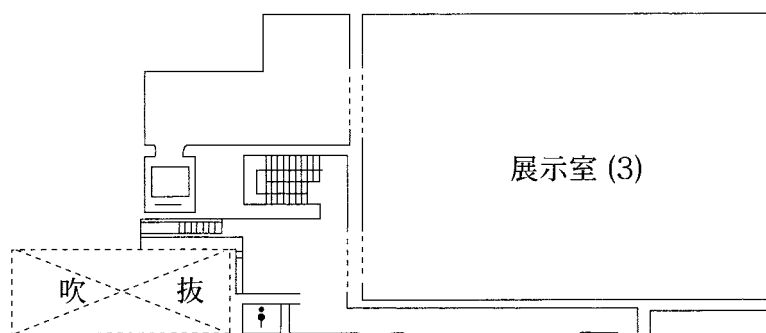


(地下・3階 略)

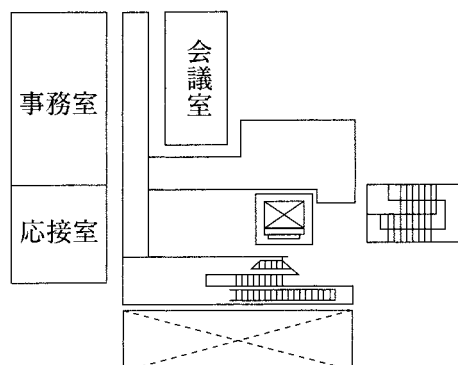


美術館分館見取図

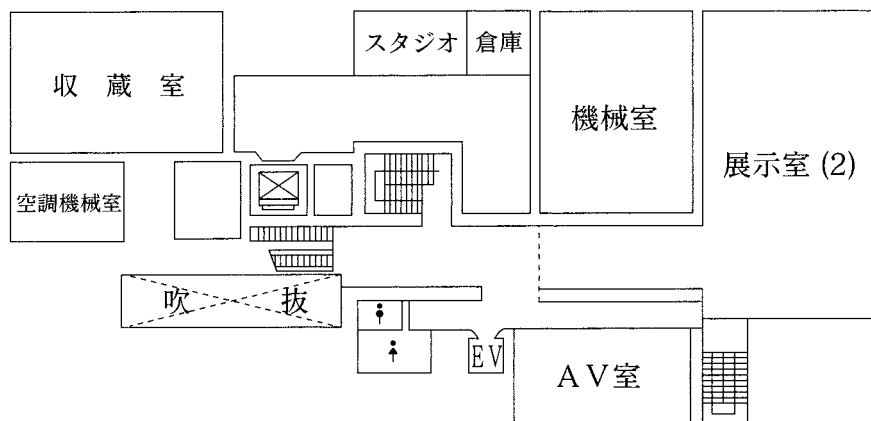
4 階



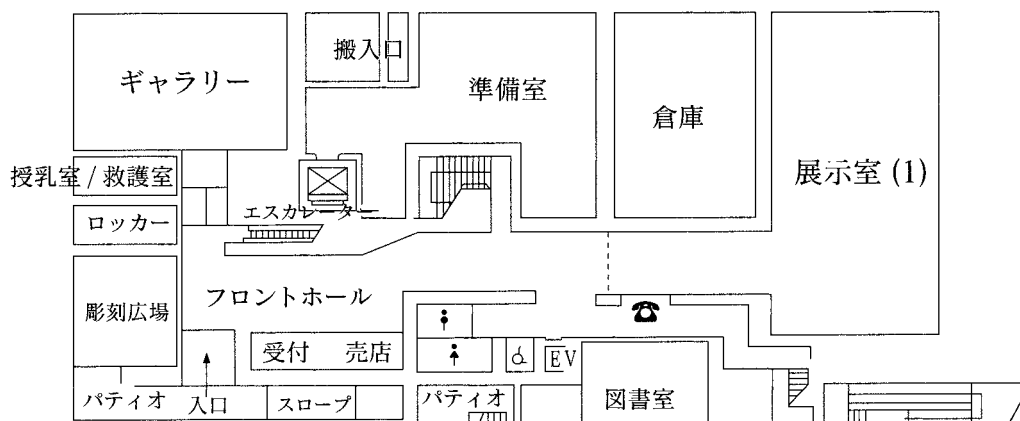
3 階



2 階



1 階



Ⅲ 事業の概要

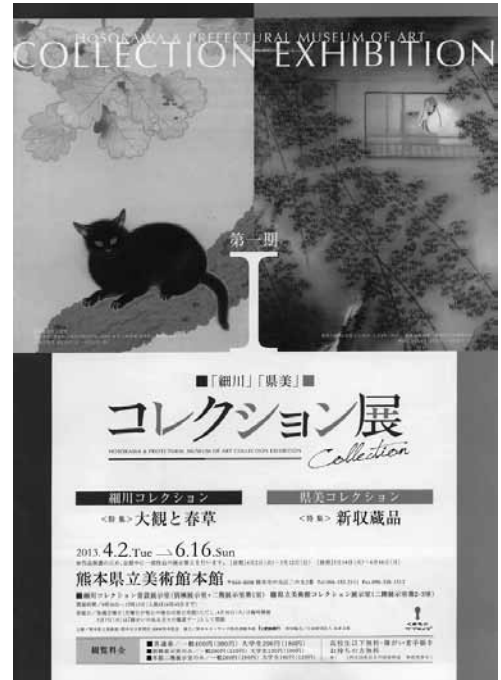
平成25(2013)年度熊本県立美術館年間スケジュール

月	4 月			5 月			6 月			7 月			8 月			9 月			10 月			11 月			12 月			年末年始休館 12／24～1／8	1 月			2 月			3 月														
本館二階	美術館コレクション 特集 新収蔵品 4／2～6／16									美術館コレクション 特集 義尹と大智、肥後の禅宗 7／2～9／23									美術館コレクション 特集 今西コレクション名品展 10／1～12／23										美術館コレクション 特集 ポップ・アートとアメリカ版画 1／9～3／23																				
本館一階	北斎展 — 世界が絶賛した浮世絵師 — 3／30～5／19						第35回 熊本県 日本画協会展	第41回 熊本県 美術家連盟展	第32回 熊日新鋭 ・学童書道展	藤田嗣治渡仏100周年記念 レオナール・フジタとパリ — 天才たちの熱き交流 — 7／2～8／25						第68回 県美展	山下清展 — 放浪の天才画家 — 10／5～12／15						第54回 熊日書道展	崇城大学芸術学部卒業制作展 修了制作展			産経国際書会 代表展・熊本展		ピカソ 版画に 魅せられた巨匠																				
永青文庫展示室	細川コレクション 特集 大観と春草 4／2～6／16									細川コレクション 特集 工芸にみる日本の意匠 7／2～9／23									細川コレクション 特集 幕末の肥後 — 黒船来航の衝撃 — 10／1～12／23										細川コレクション 特集 馬の美術 1／9～3／23																				
月	4 月			5 月			6 月			7 月			8 月			9 月			10 月			11 月			12 月			年末年始休館 12／24～1／6（6日は搬入日）	1 月			2 月			3 月														
分館四階	千坪会 心豊かに 趣味の水墨画展			第53回 白鷗書道展			中島七光遺作展 日洋会熊本支部 展			OKIのいろKUMAMOTO 14			品展 第12回2013熊 日水彩画教室合同作			展 第2回健康と癒しの美 術展(ヘルスアート・ビ ーリング展)			展 第2回熊日水彩画 教室合同作品展			展 第2回熊日水彩画 教室合同作品展			展 第2回熊日水彩画 教室合同作品展				展 第2回熊日水彩画 教室合同作品展			展 第2回熊日水彩画 教室合同作品展			展 第2回熊日水彩画 教室合同作品展														
分館二階	異空間Ⅱ 写真展			第22回日専連 全国・くまもと 児童版画コン クール			第22回日専連 全国・くまもと 児童版画コン クール			第22回日専連 全国・くまもと 児童版画コン クール			第22回日専連 全国・くまもと 児童版画コン クール			第22回日専連 全国・くまもと 児童版画コン クール			第22回日専連 全国・くまもと 児童版画コン クール			第22回日専連 全国・くまもと 児童版画コン クール			第22回日専連 全国・くまもと 児童版画コン クール				第22回日専連 全国・くまもと 児童版画コン クール			第22回日専連 全国・くまもと 児童版画コン クール			第22回日専連 全国・くまもと 児童版画コン クール														
分館一階	うえきアート展			第7回日本風景写真協 会展			第26回紅華会書 作展			第26回紅華会書 作展			第26回紅華会書 作展			第26回紅華会書 作展			第26回紅華会書 作展			第26回紅華会書 作展			第26回紅華会書 作展				第26回紅華会書 作展			第26回紅華会書 作展			第26回紅華会書 作展			第26回紅華会書 作展											
月	4 月			5 月			6 月			7 月			8 月			9 月			10 月			11 月			12 月			年末年始休館 12／24～1／6（6日は搬入日）	1 月			2 月			3 月														
ギャラリー	グラス30周年展			第30回ギルトスタ 作品展			第30回ギルトスタ 作品展			第30回ギルトスタ 作品展			第30回ギルトスタ 作品展			第30回ギルトスタ 作品展			第30回ギルトスタ 作品展			第30回ギルトスタ 作品展			第30回ギルトスタ 作品展				第30回ギルトスタ 作品展			第30回ギルトスタ 作品展			第30回ギルトスタ 作品展			第30回ギルトスタ 作品展			第30回ギルトスタ 作品展								
会期	4/27	9/14	16/21	23/29	5/16	8/12	14/19	21/26	28/6/2	4/9	11/16	18/23	25/30	7/27	9/15	17/21	23/28	7/30	8/4	16/11	13/18	20/25	27/9/1	3/8	10/16	18/23	25/29		10/16	8/14	16/20	22/27	29/11/4	6/10	12/17	19/24	26/12/1	3/8	10/15	17/23	24/1/6	1/7/13	15/19	21/26	28/2/2	4/9	11/16	18/23	25/30

■ 展覧会記録

第Ⅰ期 細川コレクション 〈特集〉大観と春草

会 期 平成 25 年 4 月 2 日（火）～6 月 16 日（日）
開催日数 68 日間
会 場 熊本県立美術館本館 細川コレクション常設展示室
主 催 熊本県立美術館、熊本日日新聞社、R K K 熊本放送
特別協力 公益財団法人永青文庫
協 力 熊本ルネッサンス県民運動本部 肥後銀行
観 覧 料 共 通 券：一 般 400 円（300 円）
大学生 240 円（180 円）
別 棟 展 示 室：一 般 200 円（150 円）
大学生 120 円（100 円）
本館 2 階展示室：一 般 260 円（190 円）
大学生 160 円（120 円）
高校生以下無料
（ ）内は団体 20 名以上の料金
観覧者数 本館 2 階：6,289 人 別棟：3,918 人 計 10,207 人
担 当 者 山田 貴司



趣旨とその成果

第Ⅰ細川コレクション特集では、「大観と春草」と銘うち、わが国屈指の蒐集家・細川護立の近代日本画コレクションの核となる横山大観と菱田春草の作品を中心に、上村松園、平福百穂、小林古径の代表作をあわせて 13 件展示した。これらはいずれも近代日本美術史を語る上で欠かせない傑作で、とくに春草筆の国指定重要文化財《落葉》と《黒き猫》は近代日本画の金字塔というべきもの。熊本にしながら名画を堪能できる、たいへん貴重な機会となる展覧会であった。

諸事情により広報印刷物の配布時期が遅れたことで、展覧会当初は若干客足が伸び悩むところもあった。しかし、2 年振りに熊本で《落葉》と《黒き猫》を展観できる機会とあって、会場では、待ち焦がれていた美術ファンが熱心に観覧する姿も見られた。

この 2 作品と大観の作品群は、全国的に広く知られた存在であり、当館の美術品の中でも屈指の人気を誇っている。当然ながら他館からの引き合いも多いが、このようにまとまった形で展観できるのは護立コレクションの強みであり、魅力でもある。新たな作品を発掘し、テーマを切り開くばかりではなく、既存の名品群の展示機会をできるだけ確保し、熊本の美術ファンのニーズに応えることも重要な役割であると、改めて認識させられる展覧会であった。

第Ⅰ期 美術館コレクション 〈特集〉新収蔵品

会 期 平成 25 年 4 月 2 日（火）～6 月 16 日（日）

開催日数 68 日間

会 場 熊本県立美術館本館 2 階展示室

主 催 熊本県立美術館

観 覧 料 一 般 260 円（190 円）

大学生 160 円（120 円）

高校生以下無料

（ ）内は団体 20 名以上の料金

観覧者数 6,289 人

担 当 者 林田 龍太

趣旨とその成果

当館の収蔵品を紹介する「県美コレクション展」第Ⅰ期では、平成 24 年度に収集した新収蔵品を中心とした特集展示を行った。「新収蔵品」と一言でまとめても、ジャンルは多岐にわたり、統一的な展示を行うのは困難である。そこで、第Ⅰ期の展示においては、それらの新収蔵品が、どのような歴史・美術史の流れの中に位置づけることができるか、あるいは当館における収蔵作品とどのような関係にあるかを提示できるような展示を目指した。

本県出身の生人形師・松本喜三郎や安本亀八は、熊本はもとより、日本各地で興行を行ったことで知られている。今回新たに収集した引札類は、彼らの興行の様子を示す資料として貴重なものだが、今回の展示では、それらの資料にあわせ、松本喜三郎による《黄玄朴像^{おうげんぼくぞう}》を展示し、既存の収蔵品との関係を示すこととした。また、新収蔵品である恩地孝四郎《幼女浴後》に関しては、平成 23 年度に収集した山本鼎《デッキの一隅》や今西コレクションの創作版画誌と同時に展示することで、日本の近代版画史をたどることのできる構成とした。さらに、川口軌外による《バナナのある静物》は、戦後の坂本による静物画と関連するかたちで展示し、北川民次《地にうごめく》に関しては、宮崎精一による「戦後」を描いた作品《芸人（敗戦）》と対応させた。これらの作品に併せ、当館で既に収蔵されている作品を展示することで、明治末期から戦後までの美術の流れをたどるとともに、当館での収集活動の概要についても紹介した。

関連行事

4 月 20 日（土）「ミュージアムセミナー」

演 題：美術館と収集—新収蔵品を中心に

講 師：学芸課主任学芸員 林田 龍太

聴講者：37 人

第Ⅱ期 細川コレクション 〈特集〉工芸にみる日本の意匠^{デザイン}

会 期 平成 25 年 7 月 2 日（火）～9 月 23 日（月・祝）
開催日数 74 日間
会 場 熊本県立美術館本館 細川コレクション常設展示室
主 催 熊本県立美術館、熊本日日新聞社、RKK 熊本放送
特別協力 公益財団法人永青文庫
協 力 熊本ルネッサンス県民運動本部 肥後銀行
観 覧 料 共 通 券：一 般 400 円（300 円）
大学生 240 円（180 円）
別 棟 展 示 室：一 般 200 円（150 円）
大学生 120 円（100 円）
本館 2 階展示室：一 般 260 円（190 円）
大学生 160 円（120 円）
高校生以下無料
（ ）内は団体 20 名以上の料金
観覧者数 本館 2 階：7,327 人 別棟：5,384 人 計 12,711 人
担 当 者 才藤 あずさ



趣旨とその成果

細川コレクションでは、公益財団法人永青文庫の所蔵品を通じて、熊本の歴史や美術、そして細川家の大名文化の総合的な紹介を行っている。第Ⅱ期は別棟展示室において細川コレクションの常設展示を行い、細川家に伝わる武具・甲冑や《^{ぶどうだなずびょうぶ}葡萄棚図屏風》の他、《^{りょうないめいしょうずかん}領内名勝図巻》の中から「日州高千穂豊後竹田領内」の巻を展示した他、細川護立の収集した中国美術のコレクションを紹介した。

本館二階第1室では、〈特集〉工芸にみる日本の意匠^{デザイン}として、細川家伝来の調度や衣裳^{いしょう}を中心に、様々な工芸品にあらわされた日本の意匠の世界を紹介した。展示は四部構成とし、源氏物語を主題とした意匠、能や謡曲^{ようきょく}を題材とした意匠、花鳥などの四季の風物を主題とした意匠、武具・婚礼調度・衣裳などの様々な工芸品にあらわされた意匠、という四つの視点から展示を行った。展示作品としては、武家女性の衣裳に典型的な文学的意匠によって装飾された《^{あさぎじこしよどきもようこそで}浅葱地御所解模様小袖》、金銀の蒔絵で自然の風物をあらわした楽器や馬具、工芸技術の粋を尽くした《^{むさしのずだいしょうつば}武蔵野図大小鐺》など、多彩な美術工芸品の数々を紹介した。本展では、デザインという視点から工芸品を紹介することで、大名調度をはじめとする江戸時代の美術工芸品の質の高さを改めて示すことができたと思う。

関連行事

8 月 24 日（土）「ミュージアムセミナー」
演 題：工芸品にみる文学的意匠について
講 師：学芸課学芸員 才藤 あずさ
聴講者：26 人

第Ⅱ期 美術館コレクション 〈特集〉義尹と大智、肥後の禅宗

会 期	平成 25 年 7 月 2 日 (火) ～ 9 月 23 日 (月・祝)
開館日数	74 日間
会 場	熊本県立美術館本館 2 階展示室
主 催	熊本県立美術館
観 覧 料	一 般 260 円 (190 円) 大学生 160 円 (120 円) 高校生以下無料 () 内は団体 20 名以上の料金
観覧者数	7,327 人
担 当 者	有木 芳隆

趣旨とその成果

県美コレクション展では、当館が所蔵する美術品や資料によって、古代から近世にいたる熊本の美術や歴史、西洋・近現代絵画の総合的な展覧を行ってきた。

今回の〈特集〉「義尹と大智、肥後の禅宗」では、中世熊本の歴史と文化に大きな足跡を印した二人の禅僧ゆかりの美術品と史料を一堂に展示した。寒巖義尹^{かんがんぎいん} (1217 ～ 1300) は皇室の出身で、若くして出家し曹洞宗の開祖・道元の弟子となり、2 回の中国留学を経て熊本河尻^{かじり}に大慈寺を開いた。義尹の弟子たちは、肥後をはじめ東海地方など各地に拡がって「寒巖派^{かんがんは}」とよばれるようになる。一方、大智^{だいぢ} (1290 ～ 1366) は宇城市不知火町の出身で、幼くして義尹の弟子となり、のちに中国に渡って 11 年間におよぶ修業を遂げ、帰熊して玉名・広福寺^{こうふくじ}を開いた禅僧。本展では、義尹や大智の肖像彫刻や、《重文・寒巖義尹文書》、《重文・広福寺文書》のほか、道元禅師^{てぬ}手縫いの「袈裟^{けさ}」(展示期間制限あり) など貴重な文化財を観覧いただいた。本展は、中～近世の肥後に花開いた禅宗美術と歴史を通観いただける絶好の機会となった。

このほか第Ⅱ期展では、細川家の御用絵師・矢野派の絵画を展示した「熊本の近世絵画」や、熊本ゆかりの文人たちの書蹟「近世の書」、肥後金工として全国的に有名となった肥後鐺^{ひごつば}など「肥後の金工と胴田貫^{どうたぬき}」、小代焼・八代焼などの陶磁器、高野松山ら近代の工芸作家の作品などを幅広く展示した。また、西洋・近現代絵画部門では「近代フランス絵画とレオナール・フジタ」と題して、ルノワールなどの西洋絵画、熊本の戦後絵画に巨大な足跡を印した海老原喜之助の作品を一堂に展示した。

関連行事

7 月 13 日 (土) 「ミュージアムセミナー」

演 題：肥後禅宗の芸術～仏像彫刻を中心に～

講 師：学芸課主幹 有木 芳隆

聴講者：45 人

第Ⅲ期 細川コレクション 〈特集〉幕末の肥後－黒船来航の衝撃－

会 期 平成 25 年 10 月 1 日（火）～ 12 月 23 日（月・祝）
開催日数 74 日間

会 場 熊本県立美術館本館 細川コレクション常設展示室

主 催 熊本県立美術館、熊本日日新聞社、R K K 熊本放送

特別協力 公益財団法人永青文庫

協 力 熊本ルネッサンス県民運動本部 肥後銀行

観 覧 料 共 通 券：一 般 400 円（300 円）

大学生 240 円（180 円）

別 棟 展 示 室：一 般 200 円（150 円）

大学生 120 円（100 円）

本館 2 階展示室：一 般 260 円（190 円）

大学生 160 円（120 円）

高校生以下無料

（ ）内は団体 20 名以上の料金

観覧者数 本館 2 階：6,060 人 別棟：3,572 人 計 9,632 人

担 当 者 宮川 聖子



趣旨とその成果

細川コレクションでは、公益財団法人永青文庫の所蔵品を中心に、熊本の歴史や美術、細川家の大名文化を総合的に紹介する展示を行っている。第Ⅲ期では、別棟展示室に細川家に伝わる武具《桐鳳凰文蒔絵鞍・あぶみ 鐙》や《秋草図屏風》、第 10 代藩主・細川斉護の室・なりもり 益姫の調度《違鷹羽紋 葵唐草蒔絵硯箱》の他、《領内 めいしょう ずかん 名勝図巻》の中から「八代郡高田手永深水谷」の巻などを展示した。

本館 2 階第 1 室では、2013 年が嘉永 6 年(1853)6 月 3 日、浦賀沖にペリーが来航して 160 年目にあたるため、「幕末の肥後－黒船来航の衝撃－」と題した、ペリー来航と熊本藩の関わりについて特集展示を行った。まず、来航後に熊本藩が相州警備を担うようになったことを紹介するため、《亜墨利加人上陸図》や《相州御備場 絵図》に、当時の藩主・細川斉護が用いた甲冑《黒皺革包 紺糸射向 紅 威 二枚胴具足》や《白羅紗 左 袖緋 陣羽織》といった武具に加え、藩政を記録した古文書などを展示した。次に、来航を契機として異国船に関する情報や海外情報の伝播・収集が全国的な広がりをもつようになったことを示すため、長崎蔵屋敷に駐在する熊本藩の「長崎聞役」に注目し、海外情報が記された書状や諸記録を展示した。さらに対外危機意識の深化により、熊本藩領内では惣庄屋が主体となって、鉄砲の製造がなされた事例を藩の褒賞記録である《町在》を核にしながら紹介した。本展は、古文書の多い展示内容ではあったが、これまであまり知られていなかった幕末の熊本藩について通観できる良い機会になったと思われる。

関連行事

11 月 16 日（土）特別講演会

演 題：幕末熊本藩と海外情報

講 師：木村直樹氏（長崎大学准教授）

聴講者：64 人

第Ⅲ期 美術館コレクション 〈特集〉今西コレクション名品展

会 期 平成 25 年 10 月 1 日 (火) ～ 12 月 23 日 (月 ・ 祝)

開催日数 74 日間

会 場 熊本県立美術館本館 2 階展示室

主 催 熊本県立美術館

観 覧 料 一 般 260 円 (190 円)

大学生 160 円 (120 円)

高校生以下無料

() 内は団体 20 名以上の料金

観覧者数 6,060 人

担 当 者 金子 岳史、井上 正敏

趣旨とその成果

今西コレクションは、NHK 熊本放送局の職員であった故・今西菊松氏が生涯をかけて蒐集した、肉筆浮世絵・版画・茶道具・工芸品などのたいへん優れたコレクションである。とくに肉筆浮世絵は、国内でも有数のコレクションで、全国的にもたいへん有名なものである。今回の特集展示では、肉筆浮世絵・版画・茶道具・近代工芸などを紹介した。

また常設展示として、肥後鐔や熊本ゆかりの刀剣のほか、八代焼・小代焼といった熊本の陶磁器を第 2 室の一部で紹介した。さらに第 3 室では、フランスの近代絵画や、芸術の都ウィーンで学んだヨーロッパの古典技法を駆使して現代を描いた熊本の 3 人の画家（春口光義・谷脇敬二・牛島義弘）の作品を紹介した。

関連行事

10 月 12 日 (土) 「ミュージアムセミナー」

演 題：今西コレクションの浮世絵

講 師：学芸員 金子 岳史

参加者：28 人

第Ⅳ期 細川コレクション 〈特集〉馬の美術

会 期 平成 26 年 1 月 9 日 (木) ～ 3 月 23 日 (日)
 開催日数 64 日間
 会 場 熊本県立美術館本館 細川コレクション常設展示室
 主 催 熊本県立美術館、熊本日日新聞社、R K K 熊本放送
 特別協力 公益財団法人永青文庫
 協 力 熊本ルネッサンス県民運動本部 肥後銀行
 観 覧 料 共 通 券：一 般 400 円 (300 円)
 大学生 240 円 (180 円)
 別 棟 展 示 室：一 般 200 円 (150 円)
 大学生 120 円 (100 円)
 本館 2 階展示室：一 般 260 円 (190 円)
 大学生 160 円 (120 円)
 高校生以下無料
 () 内は団体 20 名以上の料金
 観覧者数 本館 2 階：3,919 人 別棟：2,889 人 計 6,808 人
 担 当 者 金子 岳史



趣旨とその成果

歴史上において、馬と人間は密接な関わりを持っていた。とくに武士のあいだでは、良い馬を持つことがステータスであり、厩は屋敷の奥に設置され、つねに綺麗に掃除され、馬の毛並みも整えられていた。そして、装飾された馬具や、さまざまな馬の姿を描いた屏風など、馬にまつわる調度品も盛んに制作された。細川家にも、そういった馬具や屏風が豊富に伝わる。平成 26 年は午年ということもあり、新年最初の展覧会として、細川家伝来の絵画を中心として、「馬」にまつわるさまざまな作品を展示した。

また常設展示では、近代細川家の豪華な雛飾りをはじめ、細川家に伝わる武具甲冑や屏風、《^{りょうないめいしょうずかん}領内名勝図巻》、近代の婚礼調度などを展示した。

関連行事

1 月 25 日 (土) 「ミュージアムセミナー」
 演 題：描かれた馬の系譜～古代から近世まで～
 講 師：学芸課学芸員 金子 岳史
 参加者：42 人

第Ⅳ期 美術館コレクション 〈特集〉ポップ・アートとアメリカ版画

会 期 平成 26 年 1 月 9 日（木）～3 月 23 日（日）

開館日数 64 日間

会 場 熊本県立美術館本館 2 階展示室

主 催 熊本県立美術館

観 覧 料 一 般 260 円（190 円）

大学生 160 円（120 円）

高校生以下無料

（ ）内は団体 20 名以上の料金

観覧者数 3,919 人

担 当 者 村上 哲

趣旨とその成果

熊本県立美術館は、古今東西の美術品を扱う「総合美術館」として、永年にわたり幅広い収集に取り組んできた。そのコレクションの大きな柱は、(1) 日本及び東洋の古美術、(2) 日本の近・現代美術、(3) 西洋美術である。「美術館コレクション展」ではこの 3 つの分野を総合的に展示するとともに、特定のテーマに焦点をあてた「特集展示」のコーナーも設けて、コレクションを多彩な角度から紹介している。第Ⅳ期では、阿蘇家ゆかりの浜の館跡の出土品（国指定重要文化財）や中世文書、御用絵師の絵画、肥後の金工、近代工芸、熊本ゆかりの名書家の作品を紹介、西洋絵画のコーナーではルノワール、ローランサンなどフランス絵画の珠玉の作品群を展示した。

「特集展示」では「ポップ・アートとアメリカ版画」にスポットをあて、ポップ・アートを中心にスーパー・リアリズムや抽象などアメリカ版画の多様な造形世界を、版画工房の活動も交えて紹介した。ポップ・アートは、資本主義社会の成熟のもと、20 世紀後半のアメリカを舞台に多彩な展開をみせた動向である。「ポピュラー＝大衆的」という言葉を語源に持つこの芸術思潮は、コーラや漫画など消費社会に溢れる大衆的なイメージを鮮烈なアート表現へと変貌させ、今なお強い影響をおよぼし続けている。リキテンスタイン、ウォーホル、ジャスパー・ジョーンズ、サム・フランシス、フランク・ステラなど、アメリカン・アートを代表する巨匠たちの作品群で構成し、当館のコレクションの幅広い多様性を示す企画となった。

関連行事

3 月 1 日（土）「ミュージアムセミナー」

演 題：ポップ・アートとアメリカの版画工房

講 師：学芸課主幹 村上 哲

参加者：30 人

レオナルド・フジタとパリ

芸術の都に愛された画家—藤田嗣治渡仏 100 周年

LÉONARD FOUJITA et Paris 1913-1931

会 期	平成 25 年 7 月 2 日 (火) ~ 8 月 25 日 (日) 開館日数 = 49 日間
会 場	熊本県立美術館／本館 1 F 展示会場
主 催	熊本県立美術館／熊本日日新聞社／RKK 熊本放送
後 援	在日フランス大使館／アンスティチュ・フランス日本 熊本県文化協会／熊本県美術家連盟／熊本日仏協会 熊本県市町村教育委員会連絡協議会 熊本県図画工作・美術教育研究会 熊本県高等学校教育研究会美術・工芸部会 熊本県高等学校文化連盟／熊本県博物館連絡協議会 NHK 熊本放送局／エフエム熊本／FM791 熊本ルネッサンス県民運動本部
特別協賛	肥後銀行
協 力	日本航空
企画協力	株式会社ブレントラスト
観覧者数	24,627 人
担 当 者	村上 哲



趣旨とその成果

並みいる天才たちと肩をならべて、芸術の都パリで活躍した藤田^{つぐはる}嗣治（レオナルド＝ツグハル・フジタ／1886-1968）は、北斎とともに海外で最も有名な日本人画家である。この特別展は藤田が1913年に渡仏して100周年にあたる節目を記念して当館で企画・発案し、全国の美術館へと展開したものである。1913年から1931年までの藤田の黄金期の名作群を中心に、モディリアーニやキスリング、ローランサンなど藤田が交友した芸術家の作品も併せて展示し、モダン・アートの華やかかりし時代を紹介した。フランスやわが国の主要美術館の所蔵品をはじめとする油彩・水彩・素描・彫刻など合計146点の作品群で構成し、パリでの多彩な交流を通じて、藤田が独自の画風をどのように確立していったかを紹介した。渡仏前後の模索の日々からパリでのデビュー、そして栄光の時代へと至る足どりを追う構成に基づき、1910年代の初期から黄金期を代表する藤田の傑作の数々で「世界のフジタ」誕生の軌跡を辿る初めての試みとなり、全国的にも大いに注目された。

代表作《五人の裸婦》（東京国立近代美術館所蔵）や当館の《ヴァイオリンを持つこども》など、「乳白色の画肌」が駆使された1920年代の傑作を一堂に展示するとともに、1917年のパリデビュー期の纏まった作品群をわが国で初めて公開するなど圧巻の内容となった。なお藤田は幼少期を熊本で暮らし、熊本師範学校の附属小学校（現・熊本大学教育学部附属小学校）に通っているが、藤田が寄贈した同校の所蔵品2点の借用・展示も実現した。また藤田が最初の妻とみに宛ててフランスから書き送った書簡類を初公開し、初期フジタ芸術の検証と研究の礎を築くことができた。展示構成面では当館のゆとりのある展示室スペースを有効に活用した効果的な展示空間が実現でき、フジタ芸術の誕生の軌跡を辿る構成で来館者の好評を得た。また記念講演会やミュージアム・コンサートなど各種関連イベントも好評で、多くの参加者・聴講者を集めた。なお本展は、RKK 熊本放送の開局60周年を記念する企画としても位置づけて開催された。

関連行事

- ① 記念講演会 「藤田嗣治—異邦人のパリ」
日 時： 7月21日（日）13：30～15：00
場 所： 本館・講堂
聴 講 者： 170人
講 師： 近藤 史人氏（『藤田嗣治「異邦人」の生涯』著者、
NHK エデュケーショナル統括プロデューサー）
- ② スライド・トーク 「藤田からフジタへ—パリに祝福された画家」
20名以上のグループ・団体への鑑賞プログラム（約20分の解説）
実施期間： 展覧会会期中（7月2日〔火〕～8月25日〔日〕／休館日を除く）
場 所： 本館・講堂
講 師： 当館学芸課 主幹・村上 哲
聴 講 者： 30団体＝2,000人
- ③ ミュージアム・セミナー 「フジタ・ツグハル、パリへ！」
日 時： 8月10日（土）14：00～15：00
場 所： 本館・講堂
聴 講 者： 120人
講 師： 当館学芸課主幹・村上 哲（本展企画統括）
- ④ こども美術館 「パリの街へタイムスリップ 1913」
日 時： 7月28日（日）10：30～12：00
場 所： 本館・講堂、1F 展覧会場
参 加 者： 60人
- ⑤ ミュージアム・コンサート 「パリが愛したジャズ」
日 時： 8月24日（土）15：00～16：00
場 所： 本館・吹抜ホール
来 場 者： 350人
出 演： デビッド・マシューズ 熊本トリオ
（ピアノ & リーダー from 【マンハッタン・ジャズ・クインテット】）

平成 25 年度スクールミュージアム

主 催 熊本県立美術館
 展 示 物 浜田知明氏の作品（銅版画、原板）
 観 覧 者 10 校
 合計 3,351 名
 担 当 者 森本 猛、井上 正敏



趣旨とその成果

平成 18 年（2006）より、学校に歩み寄った教育普及活動として本館収蔵作品を学校へ持ち込んで学校を美術館にする「スクールミュージアム」を開催している。本活動を、美術作品を鑑賞することで子どもたちの芸術、文化を愛好する心情を育てると共に、学校の協力により、保護者、地域にもひろく本館収蔵品を知ってもらう機会としている。

本年度については、4 月に県内の学校に募集要項をメールで配布し、希望を募った。県内各地から 10 校の希望があり、10 月から 12 月の期間に県内小中高等学校等で各 1 日実施した。

具体的な内容については事前に開催校に赴いて協議し、鑑賞における要望等、担当者と話し合っ具体的な実施計画を組み立てた。浜田知明の版画作品の中から学校側の希望を参考にし、16 点～20 点展示した。当日の活動は授業参観や研究授業、文化祭で設定する等、開催校によって内容は様々であるが、作品展示中は美術館職員が常時在室し、必要に応じてギャラリートークを行った。

開催校では、普段、美術館に行く機会の少ない子どもたちにとって、貴重な鑑賞体験であるとして大変喜ばれた。見学に来られた保護者や地域の方々の中には、浜田知明作品を初めて鑑賞された方も多かったように思う。美術館へ行って、もっと作品を見てみたいとの感想もあり、子どもたちとともに絵を見ることの楽しさを体感してもらえたようだった。学校における鑑賞教育が充実することは、将来にわたって美術を愛好する態度を育てることにつながると実感したと同時に、美術館の役割として、スクールミュージアムを実施する意義は大きいと感じた。

実施日	学校名	児童・生徒参加数	保護者等参加数	合計
10 月 22 日（火）	八代市立第七中学校	180	25	205
10 月 23 日（水）	県立八代東高等学校	480	65	545
11 月 1 日（金）	玉名市立横島小学校	247	15	262
11 月 5 日（火）	益城町市飯野小学校	89	27	116
11 月 14 日（木）	益城町立広安小学校	650	47	697
11 月 16 日（土）	県立北稜高等学校	245	55	300
11 月 17 日（日）	県立菊池農業高等学校	501	85	586
12 月 5 日（木）	山鹿市立六郷小学校	140	25	165
12 月 9 日（月）	山鹿市立八幡小学校	238	35	273
12 月 15 日（日）	甲佐町立甲佐中学校	170	32	202

菊池恵楓園 1 日移動美術展「浜田知明作品展 2013 秋」

会 期 平成 25 年 11 月 3 日 (日・祝)
開催日数 1 日間
会 場 国立療養所菊池恵楓園 社会交流会館
主 催 熊本県立美術館
国立療養所菊池恵楓園入所者自治会
国立療養所菊池恵楓園
観 覧 料 無料
観覧者数 80 人
担 当 者 井上 正敏



趣旨とその成果

長年にわたって浜田知明作品をコレクションして来られた永野一成氏は、上益城郡を中心に小・中学校で教職に就き、人権教育の実践者としてよく知られた教師で、2005 年病没された。生前、ハンセン病問題の啓発活動にも深く関わり、菊池恵楓園での展覧会を通し入所者や地域の方々に人間愛にあふれる浜田作品を見てもらいたいと願っておられたが、その計画は永野氏の病気等の為に実現できなかった。その浜田知明作品 160 余点は、奥様から県立美術館に一括して寄贈いただき、スクール・ミュージアムなどに活用されている。

今回で 7 回目となった本展は、浜田知明の 1951 年作の銅版画《幼きキリスト》《初年兵哀歌（銃架のかげ）》、1963 年作の《詩人》など 16 点、宮崎静夫の〈死者のためにシリーズ〉の代表作《聲》1 点を展示し、恵楓園の入所者や職員、そして地域の方々に間近で鑑賞していただく機会となった。「作家の言葉」も作品の横に掲示しているので、みなさん時間をかけて「言葉」を読んだり作品をじっくり見たりされ、鑑賞の時間が長い。会場は、ハンセン病の歴史がわかる「資料館」の一角で、学芸員が配置され充実した展示になってきていて、作品展とともに展示資料を見ていただくのもこの催しの魅力になってきている。毎年この展覧会を楽しみに、県外から出かけて来られる方もおられるようになった。

熊本日新聞では事前にこの展覧会の内容を報道し、広報に一役かっただいただいている。当日の取材は、熊本日、朝日、読売新聞、で行われ、後日詳しい紹介・報道がなされた。



菊池恵楓園「浜田知明作品展 2013 秋」会場にて

概要

・今年度の浜田知明室の作品展示は、4 期に分けて浜田版画の初期から 10 点ずつの展示、それと関連のある彫刻作品の展示を 1 点ずつ行った。また、今年度は日本美術家連盟の「企画インタビュー 浜田知明氏に聞く」がきっかけとなり、夏に NHK 教育テレビの日曜美術館で浜田知明のこれまでの軌跡と現在を伝える番組「版画家 彫刻家、浜田知明 95 歳のメッセージ」が放映される等、これまで新聞・雑誌などの取材を断ることが多かった浜田氏の取材に応じる機会が多くなり、その分各方面からの鑑賞者が多くなった。



NHK 日曜美術館「浜田知明室」撮影風景

会 場 熊本県立美術館本館 2 階浜田知明版画室

担当者 井上 正敏

◆会期・出品作品リスト

□第 1 期 (4 月 2 日～6 月 16 日)

- ◇版画：《血にまみれた馬達の話》、《カレパラス国のかの名高き礼拝堂》、《馬はなぜ風邪をひくか》、《晩年 (A)》、《晩年 (B)》、《『フィロブロン』のための扉絵》、《長田弘詩集飾画 I》、《長田弘詩集飾画 II》、《アレレ・・・》、《教授会》
- ◇彫刻：《アレレ・・・》 1989 年作

□第 2 期 (7 月 2 日～9 月 23 日)

- ◇版画：《家族 (大)》、《いらいら (A)》、《孤独なやつ》、《顔》、《情報過多の人間》、《男》、《顔》、《顔》、《顔》、《顔》
- ◇彫刻：《情報過多の人間》1984 年、《頭像》1985 年

□第 3 期 (10 月 1 日～12 月 23 日)

- ◇版画：《せかせか》、《いらいら (B)》、《二人》、《顔》、《江上昭三氏年賀状のための作品》、《ややノイローゼ気味》、《叫び》、《顔》、《お先真っ暗》、《心情不安定》
- ◇彫刻：《異常なし》 1987 年作

□第 4 期 (2014 年 1 月 9 日～3 月 23 日) ※一部途中入替

- ◇版画：《聖馬》、《初年兵哀歌 (ぐにゃぐにゃとした太陽がのぼる)》、《馬のトルソー》、《気にしない 気にしない》、《何とかなるさ》、《浮上》、《家族》、《密談》、《男と女》、《月夜》
- ◇彫刻：《家族》1992 年、《ヘルムアフロディテ》1992 年作

◆今年度の主な展覧会など

今年度は、新聞をはじめとしてテレビ出演などマスコミのインタビュー掲載が多かった。そのきっかけとなったものから紹介する。

○「連盟ニュース」NO.445（2013 年 1 月号／日本美術家連盟発行）

企画記事・インタビュー「浜田知明氏に聞く 一戦争と絵描きの眼一」

版画家の中林忠良氏が聞き手となって行われた 12 ページにわたるインタビュー。これは前年に行われた唯一のインタビュー記事。「編集後記」で彫刻家の大成浩氏は「この混沌の現実の中で、95 歳の浜田知明氏の、後輩を引きずり上げるような強さと明解さには、強く感動した。人間の本質を熱く、しかし俯瞰的なまでに冷静に見据えた〈芸術家の眼〉は、芸術論を超えた〈生命の姿と叫び〉であり、またその理性をも超えた極限の現実からこそ、個の存在のリアリティーと今日的表現がある、との意に強く共感した」と述べている。

○NHK 教育テレビ「日曜美術館」8 月 4 日（日）9 時から（45 分）。

「版画家 彫刻家 浜田知明 95 歳のメッセージ」

熊本の浜田知明氏のアトリエを後輩の版画家・中林忠良氏が訪ね、これまでの浜田氏の生き方や作品の制作などについてのインタビューを中心に、95 歳の現在も、元気に制作を続けておられる姿を作品の映像を交えながら紹介した番組（PD：杉山幸子）。蠟型が完成したばかりの「杖をつく男」、完成間近の「風景」なども画像が初公開された。当館でも「浜田知明室」などで取材が行われ紹介された。再放送は 8 月 11 日 20 時からなされた。

○「熊本日日新聞」9 月 30 日（月）記事

版画家・彫刻家 浜田知明さんに聞く 95 歳「作り残したものある」

画像：・浜田知明さん＝熊本市の自宅 ・鋳造を待つ未発表彫刻の原型

○「朝日新聞」10 月 1 日（火）記事

アート ing 「戦地の狂気 伝える使命」浜田知明さん、新作彫刻 2 点

○「読売新聞」11 月 25 日（月）記事

謹聴熟考 支局長インタビュー 「新しい彫刻はどんな作品ですか？

銅版画家、彫刻家 浜田知明さん 制作のために生きる」

○「朝日新聞（東京本社版）夕刊」12 月 16 日（月）～ 20 日（金）

「人生の贈りもの」版画家・彫刻家 浜田知明（95） 5 回連載

- ① 脳裏に焼き付いた戦争体験を記録
- ② 右翼化横目に探った個性
- ③ 伝えなかった異常さ 銅版画で表現
- ④ 風刺画取り組み 幅のある表現に
- ⑤ 言論の自由 美術家として模索

○「熊本日日新聞」平成 26 年 1 月 4 日（土）

版画家・彫刻家 浜田知明さんに聞く「馬の記憶」 闇の戦場 共にさまよった （馬歳にちなんで「馬の記憶」のインタビューがなされ、馬の作品が 3 点掲載されたので、その《聖馬》、《初年兵哀歌（ぐにゃぐにゃとした太陽がのぼる）》、《馬のトルソー》を、第 4 期に特別に展示した。）

■装飾古墳室

〈常設展示室〉

装飾古墳室は、古代から現代に至る本県の美術史の原点として設けたものである。

九州における装飾古墳は、5世紀から7世紀にかけて盛行して、現在全国で発見されている約660基の過半数369基が九州地方に、特に196基が熊本県に集中している。

装飾古墳の特徴は、その装飾性にあるといえる。直弧文・円文・三角文等の幾何学文様と、武器・武具、人や動物、船や家などの具象形の文様が、彩色されたり彫刻されて墳墓や横穴を飾っている。赤・青・白などの単純で強烈な色彩や、素朴で躍動的な造型性は、われわれの心を揺り動かす。



しかし、装飾古墳は、崩壊の一途をたどっているのが現実である。当美術館は公開と保存という矛盾の中から解決を探る試みとして、精巧なレプリカや模刻・模写という方法で地元の偉大な文化遺産を写しとった。

〈レプリカ・模刻〉

No. 名称	出土地名	指定
1 大村横穴	人吉市城本町	国指定史跡
2 千金甲古墳（1号）	熊本市小島下町	〃
3 井寺古墳	上益城郡嘉島町	〃
4 鍋田横穴	山鹿市大字鍋田	〃
5 弁慶ヶ穴古墳	山鹿市熊入町	〃
6 チブサン古墳	山鹿市大字城字西福寺	〃

〈石材・石人等〉

No. 名称	出土地名	所蔵（保管）者名
1 広浦古墳石棺石材	上天草市大矢野町	県立済々黌高等学校
2 鴨籠古墳石棺	宇城市不知火町	熊本大学
3 臼塚古墳石人	山鹿市大字石	県立鹿本商工高等学校
4 姫ノ城古墳出土翳・蓋・靱	八代郡氷川町	氷川町教育委員会

〈江上波夫コレクションー匈奴の文物〉

1 青銅製轡	匈奴（紀元前400～200年頃）中国・内モンゴル（オルドス地方）出土
2 青銅製丁字形戈	匈奴（紀元前400～200年頃）中国・内モンゴル（オルドス地方）出土
3 青銅製鹿文透斧	匈奴（紀元前400～200年頃）中国・内モンゴル（オルドス地方）出土
4 青銅製径路剣	匈奴（紀元前400～200年頃）中国・内モンゴル（オルドス地方）出土
5 青銅製鍔金飾り具	匈奴（紀元前400～200年頃）中国・内モンゴル（オルドス地方）出土
6 青銅製動物文飾り板・腰帯匈奴	匈奴（紀元前400～200年頃）中国・内モンゴル（オルドス地方）出土

■教育普及

□ 各種講座等

子ども美術館活動

回	期日	曜	タイトル	講 師	場 所	参加者数
1	4月21日	日	消しゴムはんこで浮世絵のヒミツを見つけよう	森本猛（主幹）、金子岳史（学芸員）、わーくしょっぷの会、子ども美術館ボランティア	本館講堂 展示室	53
2	6月16日	日	自然の絵の具で描いてみよう	森本猛（主幹）、林田龍太（学芸員）わーくしょっぷの会、子ども美術館ボランティア	本館講堂 展示室	58
3	7月28日	日	パリの街へタイムスリップ 1913	森本猛（主幹）、村上哲（主幹）わーくしょっぷの会、子ども美術館ボランティア	本館講堂 展示室	55
4	8月25日	日	外に飛び出せ！ クモの巣作り	馬場 美樹（画家・子どもワークショップ教室）森本猛（主幹）、わーくしょっぷの会、子ども美術館ボランティア	本館講堂 展示室	18
5	10月6日	日	はり絵で自画像	森本猛（主幹）、井上正敏（学芸員）、わーくしょっぷの会、子ども美術館ボランティア	本館講堂 展示室	55
6	1月19日	日	うま、ウマ、馬がいっぱい	森本猛（主幹）、金子岳史（学芸員）、わーくしょっぷの会、子ども美術館ボランティア	本館講堂 展示室	24
7	2月9日	日	ポンポンポップ・アート	森本猛（主幹）、わーくしょっぷの会、子ども美術館ボランティア	本館講堂 展示室	24
合計						287

出張授業及び研修等

	期 日	内 容	場 所	担 当 者
1	4月20日	レオナルド・フジタとパリ講演会講師	静岡市美術館	村上 哲（主幹）
2	7月23日	熊本市歴史文書資料室歴史講座 講師	熊本市 歴史文書資料室	山田貴司（主任学芸員）
3	8月20日	北部公民館講座 講師	北部公民館	村上 哲（主幹）
4	8月21日	経営者モーニングセミナー 講師	ホテル ニューオオタニ熊本	才藤あずさ（学芸員）
5	8月31日	レオナルド・フジタとパリ講演会講師	北九州市立美術館	村上 哲（主幹）
6	10月25日	レオナルド・フジタとパリ講話 講師	美術館「えき」京都	村上 哲（主幹）
7	11月13日	浜田知明作品鑑賞会 講師	熊本市立向山小学校	井上正敏（参事）
8	2月22日	草枕美術展講演会 講師	草枕記念館	林田龍太（主任学芸員）
9	3月14日	球磨郡多良木町文化講演会 講師	多良木町公民館	有木芳隆（主幹）
10	3月15日	球磨郡錦町文化講演会 講師	錦町公民館	有木芳隆（主幹）

☐ ミュージアムセミナー ～熊本県立美術館 美術鑑賞講座～

回	期日	曜	タイトル	担 当	場 所	参加者数
1	4月20日	土	美術館と収集～新収蔵品を中心に～	主任学芸員 林田龍太	本館講堂	37
2	7月13日	土	肥後禅宗の芸術～仏像彫刻を中心に～	学芸課主幹 有木芳隆	本館講堂	45
3	8月10日	土	フジタ・ツグハル、パリへ！	学芸課主幹 村上 哲	本館講堂	120
4	8月24日	土	工芸品にみる文学的意匠について	学芸員 才藤あずさ	本館講堂	26
5	10月12日	土	今西コレクションの浮世絵	学芸員 金子岳史	本館講堂	28
6	1月25日	土	描かれた馬の系譜～古代から近世まで～	学芸員 金子岳史	本館講堂	42
7	3月1日	土	ポップ・アートとアメリカの版画工房	学芸課主幹 村上 哲	本館講堂	30
合 計						328

☐ 実技講座

期 日	タイトル	講 師	場 所	参加者数
5月12日、19日、26日 6月2日、9日(何れも日曜日) 全5日間	クロッキー教室	講師なし (自主講座)	本館講堂	32
8月28日(水)～30日(金) 9月4日(水)～6日(金) 全6日間	フレスコ画	有田 巧 氏	本館講堂	15
9月11日(水)～13日(金) 9月18日(水)～20日(金) 9月25日(水)～27日(金) 全9日間	日本画	大塚 浩平 氏	本館講堂	19
※「フレスコ画」「日本画」の講座は講師の希望により受講者を少人数で設定している。				合 計 66

☐ 学芸員資格取得課程実習（博物館実習）

期 日	実習生所属大学等	実習生数	場 所	担 当
8月16日(金) ～8月22日(木)	熊本大学、佐賀大学、琉球大学、沖縄県立芸術大学、同志社女子大学、九州産業大学、崇城大学	13名	本館 会議室等	村上 哲 (学芸課主幹) 他学芸課職員

☐ 学芸員資格取得課程関連講義

期 日	内 容	場 所	担 当
4月～7月	熊本大学学芸員資格取得課程講義	熊本大学文学部	村上 哲 (学芸課主幹)

☐ 熊本市内中学校ナイストライ（職場実習）事業協力

期 日	学 校	担 当	場 所	参加数
9/18日(水)～19日(木)	熊本市立京陵中学校	才藤あずさ、森本猛、他	会場受付、監視補助、鑑賞教材作成補助	3
合計				3

☐ 平成25年度講演会

1 主 催 熊本市立美術館、熊本市日新聞社、RKK熊本放送

2 会 場 県立美術館本館 講堂

	期日	テーマ・内容	講師	聴講者数
1	7月21日(日)	ふじたつぐはる 藤田嗣治 – 異邦人のパリ 並みいる天才たちと肩をならべて、芸術の都パリで活躍した藤田嗣治（レオナール＝ツグハル・フジタ／1886-1968）は、北斎とともに海外で最も有名な日本人画家である。本講演では、100年前の1913年にパリに渡った藤田が、古今東西の美意識が交錯する芸術の都で独自の表現を見出した軌跡を、波乱に満ちた生涯とともに辿り、芸術家たちとの交流の日々や知られざるエピソードが紹介された。藤田嗣治の渡仏100周年を記念して開催した「レオナール・フジタとパリー芸術の都に愛された画家」の記念イベントとして実施した。	こんどう ふみと 近藤 史人 氏 『藤田嗣治「異邦人」の生涯』の著者、NHKエデュケーショナル統括プロデューサー	170
2	11月16日(土)	幕末熊本藩と海外情報 江戸時代はいわゆる「鎖国」という体制がとられ、海外情報の窓口は松前・対馬・長崎・琉球（＝「四つの口」）と限定されていた。幕末になると国際関係が大きく変化したことにより、海外情報の必要性が増していき、諸藩は四つの口を中心にしながら、独自に情報収集を開始。そのような中、熊本藩はどのようなルートで海外情報を入手していたのか、「館入」と「長崎開役」に力点を置いて、当時の熊本藩をめぐる長崎での人間関係をみることで、熊本藩の長崎での情報収集活動について紹介。	長崎大学 准教授 きむら なおき 木村 直樹 氏	64

□平成 25 年度熊本県立美術館ボランティアの活動

■美術館サポートボランティア

平成 4 年、友の会よりスタートしたボランティア活動が平成 5 年から美術館として一般の募集を行い、ボランティアの活動を開始した。美術館の中に「熊本県立美術館ボランティア会」という組織が作られ、運営されてきた。平成 25 年度からは、組織を解散、名称を「美術館サポートボランティア」と改め、美術館主導の新体制で活動を再スタートさせた。次の基本方針のもと、各グループに分かれて活動した。平成 25 年度は 42 人が登録した。

■活動目的、方針

美術館サポートボランティアは美術館の日々の活動を支えることを目的とした。そのために、次の活動方針を定めて実施した。

- 美術館運営のための支援（作業・広報）
- ワークショップ活動（教育普及）の支援

■活動内容について

（１）各グループでの活動（４グループのいずれかに所属し活動する）

①図書グループ

毎週火曜日に活動し、展覧会図録や美術図書の整理を行った。

②資料グループ

月 2 回水曜日に活動し、新聞記事の切り抜き、資料の分類・整理を行った。

③ポスターグループ

第 2 月曜日に活動し、展覧会ポスター・チラシの掲示・整理、発送作業を行った。

④子ども美術館グループ

年に 7 回、前日の活動を合わせると 14 回活動し、子ども美術館でスタッフの一員として、教材づくりや子ども達の支援を行った。

（２）その他の活動（希望者による活動）

①障がい者支援

【障がいのある方々の鑑賞デー】

本年度は、5 月 7 日（火）、7 月 29 日（月）、11 月 18 日（月）の 3 回開催した。午前・午後の交替制で多数のボランティア会員にご協力をいただき、館内案内、展覧会案内、車椅子の移動支援など、障がいのある方々への支援に取り組んだ。

【手でみる造型展】

熊本県文化協会が主催する第 24 回手でみる造型展を、2 月 4 日（火）～2 月 9 日（日）本館講堂にて開催した。開期中はフロア内のロタンなどの彫刻にも、美術館サポートボランティアの介助で触ることができるように支援を行った。

②NHK 美術館コンサートのサポート

ボランティアの希望を募って実施、毎回 10 人ほど募集し、会場整理等を行った。

③美術館敷地内の清掃および彫刻等の拭き上げ作業

9 月 30 日に実施、雨天のため参加は少なかったが、美術館の環境を整える活動を行った。

④美術館研修会（サポートボランティアを対象に行う）

美術館のミュージアムセミナー、講演会に参加した。毎回 20 人程度が参加している。

⑤自主学習会

意欲のある人たちが集まって以前からの学習会を自主的に継続している。

□ 平成25年度 NHK・美術館コンサート記録

回	月	日	曜	時 間	出 演 団 体	曲 目	場 所
146	5	18	土	午後2:00 ～3:15	第1部 中川 恵美里さん(声 楽家)・ピアノ伴奏:鬼 海 奈々さん	Ave Maria／アヴェ・マリア G.カッチーニ 作曲 O del mio amato ben／ああ愛しい人の S.ドナウディ 作曲 オペラ《フィガロの結婚》より、 "Voi che sapete"／恋の悩み知る君は W.A.モーツァルト 作曲 オペラ《カルメン》より、"Habanera"／恋は野の鳥 G.ビゼー 作曲 ミュージカル《マイ・フェア・レディ》より、"踊り明かそう" F.ロウ 作曲	熊 本 県 立 美 術 館 吹 き 抜 け ホ ー ル
					第2部 箏・三絃Duo 渡部 祐 子さん、小路永 和奈 さん(箏、三絃、十七絃)	瀬音 こと絵巻～さくら～ 水野 利彦 編曲 風の丘 久石 譲 作曲 大平 光美 編曲 海鳴り 石井 由希子 作曲	
147	9	7	土	午後2:00 ～3:15	第1部 正源司 有加さん(ピ アノ)	アレグレットの主題による12の変奏曲 変ロ長調K.500 モーツァルト 作曲 即興曲 第3番 変ト長調 op.51 ショパン 作曲 ノクターン 第13番 ハ短調 op.48-1 ショパン 作曲 献呈 シューマン 作曲 リスト 編曲	同 上
					第2部 草村 健司さん(声楽・ バリトン)、小野田 美 緒さん(ピアノ伴奏)	オペラ「奥様心中」より序奏 ペルゴレージ 作曲 うつろな心 バイジェッロ 作曲 いとしい女(ひと) ジョルダナーニ 作曲 憂鬱 ベッリーニ 作曲 雲雀のように ドナウディ 作曲 オペラ「仮面舞踏会」より レナートのアリア「お前か、彼女の心を汚したのは」 ヴェルディ 作曲	
148	12	21	土	午後1:30 ～4:00	第1部 馬場貞至さん(声楽・ テノール)・ピアノ伴奏: 馬場敬子さん	セレナータ トスティ 作曲 魅惑 トスティ 作曲 夕暮れをゆく夢 リヒャルト・シュトラウス 作曲 献呈 リヒャルト・シュトラウス 作曲 音楽に寄せて シューベルト 作曲 カタリ・カタリ(つれない心) カルディッロ 作曲 オー・ソレ・ミオ(私の太陽) ディ・カプア 作曲	同 上
					田中 唱さん(バイオリ ン)・ピアノ伴奏:谷 脇裕子さん	美しきロスマリ ン クライスラー 作曲 愛の喜び クライスラー 作曲 愛の悲しみ クライスラー 作曲 チゴイナーワイゼン サラサーテ 作曲	
					第2部 松永さゆりさん(声楽・ ソプラノ)・ピアノ伴奏: 新里 楓さん	霧 レスピーギ 作曲 花占い マスカーニ 作曲 くちなし 高田三郎 作曲 市の花屋 高田三郎 作曲 不安にさせるものなどない ～オペラ「カルメン」より～ ビゼー 作曲	
					嶽下孝平さん(クラリ ネット)・ピアノ伴奏: 星子眞澄さん	酒場1900年～「タンゴの歴史」より～ ピアソラ 作曲 アヴェマリア ピアソラ 作曲 チャールダーシュ モンティ 作曲	
					田中祥子さん(民謡) ・伴奏:ピアノ・シン セサイザー矢賀部竜成 さん	五木の子守唄 (熊本民謡) お囃子 内野朝美さん 牛深ハイヤ節 (熊本民謡) お囃子 山崎公美さん	
					第1部 藤川いずみさん(新箏)、 志娥 慶香さん(ピアノ)	蘇峰 志娥慶香 作曲 みずのうた 志娥慶香 作曲 ザ・ソウル・オブ・クマモト 熊本民謡 志娥慶香 編曲 フレグランス 志娥慶香 作曲	
149	2	22	土	午後2:00 ～3:15	第2部 龍野しずくさん(チェ ロ)、藤本史子さん(ピ アノ伴奏)	無伴奏ソナタ第3楽章 カサド 作曲 白鳥 サンサーンス 作曲 サバテアート サラサーテ 作曲 おくりびと 久石 譲 作曲	同 上

Ⅳ 資 料

■観覧者状況及び事業報告

□ 年度別入館者数

年 度	主催・共催展				貸 会 場				計			
	回数	日数	入場者数	1日平均 入場者数	回数	日数	入場者数	1日平均 入場者数	回数	日数	入場者数	1日平均 入場者数
昭和50年度	1	19	23,507	1,237	0	0	0	0	1	19	23,507	1,237
昭和51年度	18	412	302,395	734	17	101	46,471	460	35	513	348,866	680
昭和52年度	14	350	89,775	257	25	158	58,426	370	39	508	148,201	292
昭和53年度	18	438	205,025	468	19	137	76,183	556	37	575	281,208	489
昭和54年度	18	379	136,566	360	25	139	45,824	330	43	518	182,390	352
昭和55年度	16	365	110,593	303	24	173	61,261	354	40	538	171,854	319
昭和56年度	18	412	105,317	256	26	186	55,464	298	44	598	160,781	269
昭和57年度	15	433	182,457	421	25	162	50,476	312	40	595	232,933	391
昭和58年度	16	389	119,773	308	24	182	60,385	332	40	571	180,158	316
昭和59年度	16	398	103,005	259	25	155	47,687	308	41	553	150,692	272
昭和60年度	15	402	80,805	201	24	180	89,936	500	39	582	170,741	293
昭和61年度	16	438	137,798	315	28	186	48,321	260	44	624	186,119	298
昭和62年度	17	452	204,621	453	26	177	67,769	383	43	629	272,390	433
昭和63年度	18	436	143,992	330	25	170	76,406	449	43	606	220,398	364
平成元年度	18	493	192,916	391	25	191	71,004	372	43	684	263,920	386
平成2年度	16	458	182,813	399	27	205	115,017	561	43	663	297,830	449
平成3年度	16	435	182,231	419	26	172	58,675	341	42	607	240,906	397
平成4年度	15	506	137,320	271	31	223	65,103	292	46	729	202,423	278
平成5年度	22	690	153,677	223	104	669	162,734	243	126	1,359	316,411	233
平成6年度	19	565	198,610	352	119	789	193,628	245	138	1,354	392,238	290
平成7年度	18	553	218,537	395	138	887	221,809	250	156	1,440	440,346	306
平成8年度	17	452	210,043	465	92	622	164,596	265	109	1,074	374,639	349
平成9年度	13	363	68,225	188	130	801	189,534	237	143	1,164	257,759	221
平成10年度	16	570	103,579	182	137	889	172,409	194	153	1,459	275,988	189
平成11年度	14	479	163,538	341	158	982	213,522	217	172	1,461	377,060	258
平成12年度	16	525	143,028	272	153	969	253,794	262	169	1,494	396,822	266
平成13年度	13	432	96,938	224	151	965	218,165	226	164	1,397	315,103	226
平成14年度	15	472	120,577	255	144	893	171,247	192	159	1,365	291,824	214
平成15年度	14	481	116,014	241	172	1,059	208,160	197	186	1,540	324,174	211
平成16年度	13	420	65,729	156	174	1,111	209,413	188	187	1,531	275,142	180
平成17年度	12	434	95,550	220	172	1,041	187,883	180	184	1,475	283,433	192
平成18年度	21	385	73,945	192	165	995	189,301	190	186	1,380	263,246	191
平成19年度	21	371	162,652	438	180	1,121	206,943	185	201	1,492	369,595	248
平成20年度	30	663	226,126	341	175	1,093	209,314	192	205	1,756	435,440	248
平成21年度	22	736	98,212	133	174	1,111	260,714	235	196	1,847	358,926	194
平成22年度	22	632	101,051	160	166	1,033	215,981	209	188	1,665	317,032	190
平成23年度	21	523	190,445	364	176	1,036	234,440	226	197	1,559	424,885	273
平成24年度	19	612	101,980	167	170	1,101	316,742	288	189	1,713	418,722	244
平成25年度	21	657	68,116	104	174	1,156	294,457	255	195	1,813	362,573	200
累 計	660	18,230	5,417,481	297	3,646	23,220	5,589,194	241	4,306	41,450	11,006,675	266

□主・共催展覧者状況

展覧会名	期日	日数	当日		小計	団体・又は、Ssのスコラシップ・ペン						学 校 共済組合	校 友の会 一般	友の会 大学生	永青文庫 友の会	聖武寺三 友の会	アートサ ポート クラブ	優待券	ポスター	障がい者	その他	総 計	一日平均 入場者数					
			一般	大学生		区	団 体	一 般		小 計																		
								区	団 体																			
第Ⅰ期コレクション展 特集 大塚と森草 特集 銅版作品	4/2～6/16	68	960	54	1,014	共通部当日	2,097	83	2,180	40	0	40																
						共通部団体	0	29	29																			
						周 遊 バス	123	1	124																			
						共通 バス	59	0	59																			
						SumQ バス	2	0	2																			
第Ⅱ期コレクション展 特集 工芸にみる日本の意匠 特集 義尹と大曾、肥後の海宗	7/2～9/23	74	509	26	535	共通部当日	3,600	173	3,773	55	22	77																
						共通部団体	0	61	61																			
						周 遊 バス	92	1	93																			
						共通 バス	59	5	64																			
						SumQ バス	1	0	1																			
第Ⅲ期コレクション展 特集 幕末の肥後―黒船来航の衝撃― 特集 今国コレクション名品展	10/1～12/23	74	518	17	535	共通部当日	1,461	122	1,583	67	59	126																
						共通部団体	0	30	30																			
						周 遊 バス	114	3	117																			
						共通 バス	71	1	72																			
						SumQ バス	0	0	0																			
第Ⅳ期コレクション展 特集 馬の美術 特集 ポンツアートとヒカガ映画	1/9～3/23	64	681	106	787	共通部当日	24	1	25	14	0	14																
						共通部団体	0	0	0																			
						周 遊 バス	35	1	36																			
						共通 バス	0	0	0																			
						SumQ バス	0	0	0																			
第Ⅰ期コレクション展 特集 大塚と森草	4/2～6/16	68	373	13	386	共通部当日	14	0	14	21	0	21																
						共通部団体	0	0	0																			
						周 遊 バス	51	3	54																			
						共通 バス	60	1	61																			
						SumQ バス	2	0	2																			
第Ⅱ期コレクション展 特集 工芸にみる日本の意匠	7/2～9/23	74	221	5	226	共通部当日	1,659	47	1,706	67	59	126																
						共通部団体	0	61	61																			
						周 遊 バス	82	0	82																			
						共通 バス	60	1	61																			
						SumQ バス	2	0	2																			
第Ⅲ期コレクション展 特集 幕末の肥後―黒船来航の衝撃―	10/1～12/23	74	282	2	284	共通部当日	13	0	13	1	0	1																
						共通部団体	0	0	0																			
						周 遊 バス	36	0	36																			
						共通 バス	0	0	0																			
						SumQ バス	0	0	0																			
第Ⅳ期コレクション展 特集 馬の美術	1/9～3/23	64	222	8	230	共通部当日	1,461	122	1,583	67	59	126																
						共通部団体	0	30	30																			
						周 遊 バス	48	4	52																			
						共通 バス	45	1	46																			
						SumQ バス	0	2	2																			
第Ⅰ期コレクション展 特集 大塚と森草	4/2～6/16	68	373	13	386	共通部当日	14	0	14	21	0	21																
						共通部団体	0	0	0																			
						周 遊 バス	51	3	54																			
						共通 バス	60	1	61																			
						SumQ バス	2	0	2																			
第Ⅱ期コレクション展 特集 工芸にみる日本の意匠	7/2～9/23	74	221	5	226	共通部当日	1,659	47	1,706	67	59	126																
						共通部団体	0	61	61																			
						周 遊 バス	82	0	82																			
						共通 バス	60	1	61																			
						SumQ バス	2	0	2																			
第Ⅲ期コレクション展 特集 幕末の肥後―黒船来航の衝撃―	10/1～12/23	74	282	2	284	共通部当日	13	0	13	1	0	1																
						共通部団体	0	0	0																			
						周 遊 バス	36	0	36																			
						共通 バス	0	0	0																			
						SumQ バス	0	0	0																			
第Ⅳ期コレクション展 特集 馬の美術	1/9～3/23	64	222	8	230	共通部当日	1,461	122	1,583	67	59	126																
						共通部団体	0	30	30																			
						周 遊 バス	48	4	52																			
						共通 バス	45	1	46																			
						SumQ バス	0	2	2																			
第Ⅰ期コレクション展 特集 大塚と森草	4/2～6/16	68	373	13	386	共通部当日	14	0	14	21	0	21																
						共通部団体	0	0	0																			
						周 遊 バス	51	3	54																			
						共通 バス	60	1	61																			
						SumQ バス	2	0	2																			
第Ⅱ期コレクション展 特集 工芸にみる日本の意匠	7/2～9/23	74	221	5	226	共通部当日	1,659	47	1,706	67	59	126																
						共通部団体	0	61	61																			
						周 遊 バス	82	0	82																			
						共通 バス	60	1	61																			
						SumQ バス	2	0	2																			
第Ⅲ期コレクション展 特集 幕末の肥後―黒船来航の衝撃―	10/1～12/23	74	282	2	284	共通部当日	13	0	13	1	0	1																
						共通部団体	0	0	0																			
						周 遊 バス	36	0	36																			
						共通 バス	0	0	0																			
						SumQ バス	0	0	0																			
第Ⅳ期コレクション展 特集 馬の美術	1/9～3/23	64	222	8	230	共通部当日	1,461	122	1,583	67	59	126																
						共通部団体	0	30	30																			
						周 遊 バス	48	4	52																			
						共通 バス	45	1	46																			
						SumQ バス	0	2	2																			
第Ⅰ期コレクション展 特集 大塚と森草	4/2～6/16	68	373	13	386	共通部当日	14	0	14	21	0	21																
						共通部団体	0	0	0																			
						周 遊 バス	51	3	54																			
						共通 バス	60	1	61																			
						SumQ バス	2	0	2																			
第Ⅱ期コレクション展 特集 工芸にみる日本の意匠	7/2～9/23	74	221	5	226	共通部当日	1,659	47	1,706	67	59	126																
						共通部団体	0	61	61																			
						周 遊 バス	82	0	82																			
						共通 バス	60	1	61																			
						SumQ バス	2	0	2																			
第Ⅲ期コレクション展 特集 幕末の肥後―黒船来航の衝撃―	10/1～12/23	74	282	2	284	共通部当日	13	0	13	1	0	1																
						共通部団体	0	0	0																			
						周 遊 バス	36	0	36																			
						共通 バス	0	0	0																			
						SumQ バス	0	0	0																			
第Ⅳ期コレクション展 特集 馬の美術	1/9～3/23	64	222	8	230	共通部当日	1,461	122	1,583	67	59	126																
						共通部団体	0	30	30																			

[illegible]

□貸会場事業報告及び観覧者状況(本館)

展 覧 会 名	期 日	日数	主 催 者	内 容	入場者数	観覧料
北斎展 ― 世界が絶賛した浮世絵師 ―	4/1 ～ 5/19 (会期は3/30から)	44	株式会社 テレビ熊本	葛飾北斎の貴重な肉筆画から代表作「富嶽三十六景」をはじめ、役者絵、妖怪絵を展示。また、北馬、北明、五清など弟子たちの作品も展示	29, 117	一般1,000円 (800円) 高・大学生800円 (640円) 小・中学生500円 (400円) () 内は前売料金及び20名以上の団体料金
第35回 熊本県日本画協会展	5/21 ～ 5/26	6	熊本県日本画協会	日本画・水墨画 約200点の展示	1, 549	一般300円 大学・高校生200円 小中学生 無料 団体 (20名以上) 200円
第41回 熊本県美術家連盟展	6/4 ～ 6/9	6	熊本県美術家連盟	会員の日本画・洋画・彫刻・工芸・デザイン作品の展示	1, 388	
第32回 熊日新鋭・学童書道展	6/11 ～ 6/16	6	株式会社 熊本日日新聞社	入賞作品の展示	1, 619	
第68回 県美展	9/10 ～ 9/16	7	熊本県美術協会	会員・会友、公募の洋画作品 約200点の展示	2, 640	一般500円
山下清展 ― 放浪の天才画家 ―	10/5 ～ 12/15	63	株式会社 テレビ熊本	山下清の代表的な貼絵を中心に、ペン画、油彩、水彩画など約180点を展示	42, 373	一般1,000円 (800円) 高・大学生700円 (500円) 小・中学生500円 (400円) () 内は前売料金及び20名以上の団体料金
第54回 熊日書道展	12/17 ～ 12/23	7	株式会社 熊本日日新聞社	入賞、委嘱作品など 約270点の展示	1, 227	中学生以上300円
崇城大学芸術学部卒業制作展・大学院芸術研究科修了制作展	2/18 ～ 2/23	6	崇城大学	崇城大学芸術学部美術学科、デザイン学科の卒業制作の展示	799	
産経国際書会 代表展・熊本展	3/18 ～ 3/23	6	産経国際書会	産経国際書会の代表者約200名の書作品約200点の展示	389	
ピカソ 版画に魅せられた巨匠	3/29 ～ 3/31 (会期は5/18まで)	2	株式会社 テレビ熊本	ピカソの版画作品約140点を展示。初期のエッチングやドライポイント、そしてリトグラフ、リノカットによるカラー版画作品など、初期から晩年までの作品の中から代表的な秀作を一堂に集め、いくつかのテーマのもとで展示。	685	一般1,100円 (900円) 高・大学生700円 (500円) 小・中学生500円 (400円) () 内は前売料金及び20名以上の団体料金
小計		153			81, 786	

分館(展示室1・2・3)

□ 貸会場事業報告及び観覧者状況

展覧会名	期日	日数	主催者	内 容	入場者数	観覧料
千艸会 心豊かに趣味の水墨画展	4/2 ～ 4/7	6	千艸会	水墨画 額 掛軸 他約30点	896	
異空間Ⅱ～写真展	4/2 ～ 4/7	6	松村由子	第一高校110周年清春会しらうめ芸術祭参加 二人の写真作品展	634	
うえきアート展	4/2 ～ 4/7	6	植木アート	絵画40点 書道10点 写真30点	917	
第53回白鷗書道展	4/9 ～ 4/14	6	白鷗書道会	展示室1 中村龍石生誕百年記念書展 展示室2 中村天香書展(米寿記念) 展示室3 左記以外の全会員による創作作品	3,416	
日洋会熊本支部展	4/16 ～ 4/21	6	日洋会熊本支部	油彩・水彩 大作(F100号程度)約40点を展示 内容は具象絵画・静物・人物・風景である	907	
第22回日専連全国・くまもと児童版画コンクール	4/16 ～ 4/29	13	協同組合日専連熊本青年会	熊本県下小学生の版画約250点(一部全国入賞小学生分有)	639	
第7回日本風景写真協会熊本支部写真展	4/16 ～ 4/21	6	日本風景写真協会熊本支部	風景写真全紙大約50点	1,181	
中島七光遺作展	4/23 ～ 4/29	7	中島美穂子	故人の過去に発表した作品を中心にまとめて出展	956	
第26回紅華会書作展	4/23 ～ 4/29	7	紅華会	紅華会会員32名 かな書道作品(軸・額・パネル・屏風・巻子・帖)40～50点出品	598	
風のいろKUMAMOTOKINAWA VOL.4	5/1 ～ 5/6	6	児玉桂	「アートを通して熊本と沖縄をつなげる」をコンセプトに熊本/沖縄で制作展示活動をしているグループ展 絵画・立体・染色・写真・インスタレーションなどを展示	442	
海老原喜之助と弟子が描いた6・26大水害スケッチ展	5/1 ～ 5/6	6	懶熊本放送	昭和28年(1953年)の6・26熊本大水害後、海老原喜之助氏と弟子の松田澄夫氏が約10日かけて被害の大きかった地区などをスケッチブックに記録していた。これらの貴重なスケッチを大水害から60周年の時期に多くの市民にご覧いただき、ひいては防災の大切さを訴える機会にしたい	947	
第11回夢彩想作品展～創作ビスクドールとシルバーアートが奏でる物語～	5/1 ～ 5/6	6	ラコルタ	創作ビスクドール 純銀アクセサリー オブジェ デザイン画など	660	
第12回2013熊日本彩画教室合同作品展	5/8 ～ 5/12	5	熊日本彩画教室	出品者45名 F8号～F80号までの水彩画各2点ずつ計約90点を展示	875	
「バードカービングと水彩画」展	5/8 ～ 5/12	5	根占政史	バードカービング50～70点 水彩画40点	737	
第35回虹の会版画展	5/8 ～ 5/12	5	虹の会	虹の会会員20名による新作版画の展示及び35周年を記念した版画と版木の対照展示など あわせて交流団体きつつきの会(竹田市)の作品展示	994	
第66回示現会巡回熊本展	5/14 ～ 5/19	6	一般社団法人 示現会熊本支部	H25年4月に開催される第66回示現会展より選抜された油彩、水彩、版画の秀作約60点を巡回するもので、合わせて本県出品作家の作品約30点を同時展示	5,228	一般 600円 大学生 400円 高校生以下無料
バンゲア。展Vol. 13	5/21 ～ 5/26	6	上野弘嗣	油彩、日本画、デザイン、イラストレーション、陶芸等 50～60点	833	
第2回健康と癒しの美術展(ヘルスアート・ヒーリング展)	5/21 ～ 5/26	6	特定非営利活動法人 子どもの脳・心・生命を守る会	人間の脳のはたらきによる本来的な創造する力を活かし芸術的な生き方をする考えに基づいたヘルスアートの活動を通して制作された3才から90才くらいまでの絵画の展示 一部にヘルスアートクリニックくまもと院長、中原和彦医師がこの8年間心療内科の治療の一環として指導された作品の中から選定、構成された作品も展示 日本画、水彩、クレヨン画他	507	
第1回異種作品展	5/21 ～ 5/26	6	西川誠一	ペン画、アクリル画、鉛筆画、油絵、刺し子、写真、ウッドバーニング(焼きゴテを用いて板を焼いて絵を描く)とそれらの活動を表示 全体で40～50点	730	
雅押花の会会員作品展「第14回火の国押花フェスタ」	5/28 ～ 6/2	6	雅押花の会	押し花額絵	973	
清香会書道部作品展(熊本県立第一高等学校創立110周年記念第2回しらうめ芸術祭)	5/28 ～ 6/2	6	清香会書道部	屏風、帖、巻、軸、パネル等 仮名を中心に調和体等	564	
アート雅会員作品展「花と光のフェスタ」	5/28 ～ 6/2	6	アート雅	・ガラスアート作品 ・レカンフラワー作品 ・ネイチャープリント作品 ・ファッション転写作品	951	
九州産業大学芸術学部学生作品展	6/4 ～ 6/9	6	九州産業大学芸術学部	九州産業大学芸術学部卒業制作および大学院芸術研究科修了制作の作品を中心に作品展示を予定	647	
2013ARTSCHOOLあとりえバリュエ展	6/4 ～ 6/9	6	アーツスクールあとりえバリュエ	絵画 水彩、パステル、コラージュ等で題材としては花、静物、動物、人物、風景等	1,010	
奥村桃枝個展	6/4 ～ 6/9	6	奥村桃枝	水彩点描28点 油彩7点	1,131	
第28回維熊篆会「書法篆刻展」	6/11 ～ 6/16	6	維熊篆会	隷書・篆書・篆刻作品展示	802	
第12回熊日本水墨画教室合同作品展	6/11 ～ 6/16	6	熊日本水墨画教室合同展世話人会	水墨画	754	
2013熊日デザイン賞入賞作品展	6/11 ～ 6/16	6	熊本日日新聞社事業局	入賞作品の展示	530	
第24回選抜茶掛け展	6/18 ～ 6/23	6	国際文化交流会	日本古来の伝統文化を大切にするとともに現代の日常生活の中に根ざした書道展を目指した、掛軸と屏風という表装に限定した書道展	467	
のびる油彩展	6/18 ～ 6/23	6	大江公民館油絵のびる	油絵約50点	485	
服部潤第11回作品展	6/18 ～ 6/23	6	服部潤	書・墨彩画・木彫作品	380	
第30回熊日女性絵画展入賞・入選作品展	6/25 ～ 6/30	6	熊本日日新聞社事業局	洋画・日本画・版画約80点展示	3,521	
熊本独立作家展	6/25 ～ 6/30	6	熊本独立作家	・洋画 ・F100～F130号 ・約25点	1,708	
第6回日中友好水墨画交流展	7/2 ～ 7/7	6	九州華芸林書画芸術協会・日中友好協会	日本・中国の芸術家たちの絵画交流展 伝統絵画水墨画掛軸作品100数十点の作品展示	818	
第2回白日会熊本支部展	7/2 ～ 7/7	6	白日会熊本支部	油彩画35点 彫刻7点	610	
第25回熊本の建築家作品展	7/2 ～ 7/7	6	JIA熊本会(日本建築家協会)	熊本の建築家の作品を図面や写真でのパネル及び模型で展示	338	
第76回銀光展	7/9 ～ 7/15	7	銀光会	油絵 水彩画展示	10,539	一般 300円 大学生 200円 高校生以下無料
第17回書範選抜書道展	7/17 ～ 7/21	5	広深書道会	書道作品 漢字 かな てん刻等 約100点の展示	649	
写真研究会無名塾・デジタル教室フォト光影合同展	7/17 ～ 7/21	5	写真研究会無名塾・デジタル教室フォト光影	写真(カラー・モノクロ)大版(全紙他)額装及びパネル仕上げ	1,167	
清和条幅展 清和七夕展	7/17 ～ 7/21	5	清和書道会	清和有志による条幅展 会員の作品展示(半切50点) 七夕展 入賞以上展示(半紙600点)	616	
第13回臨川水墨画協会展	7/23 ～ 7/28	6	臨川水墨画協会	臨川水墨画協会員の学習発表の場として例年150点余りの作品を展示	1,293	
第4回墨彩画無窮会展	7/23 ～ 7/28	6	墨彩画無窮会	水墨画、墨彩画にて花鳥、山水画等を掛軸、額装にて50～60点ほどを展示	1,042	
第11回江原写友会展	7/23 ～ 7/28	6	江原写友会	熊本高等学校OB写真同好会で約90点の作品展示	861	
第38回城心会書展	7/30 ～ 8/4	6	城心書道会	「郷土の漢詩に親しむⅡ」のテーマで漢字(楷書・行書・草書・隷書・篆書)、調和体、篆刻などを70名前後の会員でサイズは半切を中心に大作から小品まで90点前後の展示	486	
現在アート展7	7/30 ～ 8/4	6	藤田ひろぶみ	油彩 水彩 日本画 立体など	691	
第25回日本水彩画会熊本支部展	7/30 ～ 8/4	6	日本水彩画会熊本支部	日本水彩熊本支部会員の作品(水彩画)50号～80号を45～50点展示 その他小品を20点展示	1,108	
第27回日洋展九州・熊本会場	8/6 ～ 8/11	6	日洋会熊本支部	巡回作品約80点(油彩100号～130号) 九州からの出品者(油彩、水彩100～120号)	6,420	一般 600円 大学生 400円 高校生以下無料
第5回「鹿美展」鹿本高校同窓美術展	8/13 ～ 8/18	6	鹿本高校同窓美術展	油彩 日本画 立体など50点	971	
第29回熊本平和美術展	8/13 ～ 8/18	6	熊本平和美術展実行委員会	絵画・書・写真・工芸・押し花絵他約100点展示	1,404	
第43回同光会書展	8/13 ～ 8/18	6	同光会	書の作品展で漢字・仮名・漢字仮名交じり・小字数などバラエティーに富んだ内容で「ふるさと」をテーマに取り組み自由な作風、個性的な作品である	843	
第25回熊本県シルバー作品展	8/20 ～ 8/25	6	財団法人熊本さわか・長寿財団	展示室1・写真 展示室2・書 展示室3・日本画 洋画 彫刻 工芸	4,602	
第42回九州新象展	8/27 ～ 9/1	6	九州新象作家協会	平面 立体の美術作品約50点 九州の会員作品と沖縄、東京、愛知、東北の新象会員の作品を招待し展示	615	
水墨画朱杏墨之会作品展	8/27 ～ 9/1	6	水墨画朱杏墨之会	額絵F120号～F15号 軸絵	623	
第33回兼城昌山とそのグループ展(書)	8/27 ～ 9/1	6	昌山会	兼城昌山が指導するNHKや熊日、中央公民館の受講生で一年間の学習発表会 漢字、かな、大字書等	601	
第35回熊本県書道展	9/3 ～ 9/8	6	熊本書法文化振興会	漢字 かな 近代詩文書 少字数書 篆刻 刻字 前衛書の7部門に加えて自由発想部門の計8つの部門の書道展	2,813	
第68回熊本県美術協会展(県美展)	9/10 ～ 9/16	7	熊本県美術協会	日本画 版画 デザイン 彫刻 会員・会友・一般を含め約300点を展示	9,249	一般・大学生500円 高校生以下無料
第41回熊本県書道連盟展	9/18 ～ 9/23	6	熊本県書道連盟	熊本県書道連盟会員による作品展示 漢字の書 仮名の書 調和体書 少字数 篆刻など様々な分野の作品約270点 (役員60点 選抜会員50点 一般会員160点)	1,845	
第79回東光会巡回展	9/25 ～ 9/29	5	東光会熊本支部	・東光会会員・会友の油彩・水彩・版画と一般公募作品の150余点の展示 ・第6回全国小品部門コンクール選抜作品の熊本県出品者20余点の展示	10,681	一般 500円 高・大学生 300円 中学生以下無料
計		352			96,905	

分館(展示室1・2・3)

□ 貸会場事業報告及び観覧者状況

展覧会名	期日	日数	主催者	内 容	入場者数	観覧料
昭和館巡回特別企画展 伝えたい「戦中・戦後」のくらし	10/2 ～ 10/14	12	昭和館	戦没者遺族をはじめとする多くの国民が経験した戦中・戦後の労苦を後世に伝える展示 実物資料を中心に、写真資料・図解資料・映像資料を展示し困難の多かった時代を時系列に紹介	6,575	
第18回キヤノンフォトクラブ熊本写真展	10/1 ～ 10/6	6	キヤノンフォトクラブ熊本	写真 半切額装 75点 全紙額装 10点 全倍 5点	1,068	
第21回コスモス油彩展	10/1 ～ 10/6	6	熊本中央公民館コスモス(油絵)	油彩(4号～100号)約60点 静物・人物・心象・風景など	812	
中国万華鏡	10/8 ～ 10/14	7	林 瑞栄	大小約90点	1,918	
春陽会九州研究会展	10/8 ～ 10/14	7	一般財団法人 春陽会大分研究会	春陽会(東京展)出品者で大分研究会会員による作品展 平面画(油彩画、パステル) 40点	1,201	
第42回第二高校美術科制作展	10/16 ～ 10/20	5	熊本県立第二高等学校	絵画(油絵・日本画)、デザイン、立体、彫刻、版画、水彩画など生徒達が制作した作品	868	
書道 溪風会展	10/16 ～ 10/20	5	書道溪風会	溪風会会員80名程がかな作品、調和体作品などを軸、額等にして展示	583	
済美展	10/16 ～ 10/20	5	済美展実行委員会	済々唐卒業の美術作家と美術科教師並びに在校生の作品を展示	780	
第13回熊本県水墨画協会展	10/22 ～ 10/27	6	熊本県水墨画協会	1 墨を主体とした水墨画 2 6号以上20号以下のアクリル額装のみの展示	2,922	
一般社団法人二科会写真部熊本支部展	10/22 ～ 10/27	6	二科会写真部熊本支部	支部員26名×3点＝78点 第60回二科展写真部入選者展示希望者 10数点 合計約90点	1,179	
第56回アマチュア絵画展	10/29 ～ 11/4	7	熊本県アマチュア絵画連盟	油彩 水彩 版画 水墨画 300点	1,248	
第55回書道愛好者展	10/29 ～ 11/4	7	日本の書道会	書道作品の展示	615	
フォト千葉城写真展	10/29 ～ 11/4	7	フォト千葉城	全紙サイズ60点 自然風景、動植物、スポーツなど	1,504	
第40回学生学童書道展	11/6 ～ 11/10	5	国際文化交流会	小学生から高校生 大学生までの書道展	3,901	
第49回熊本県水彩画会展	11/12 ～ 11/17	6	熊本県水彩画会	熊本県水彩画会展に応募された入選作品100点並びに熊本県水彩画会の会員会友の作品115点合計215点を展示	8,541	一般 300円 大学生 200円 高校生以下無料
「県内の障がい者芸術展」及び「NHKハート展」	11/19 ～ 11/24	6	くまもとハートウィーク実行委員会	県内の障がい者芸術展 ・障がい者が制作した絵画、書、陶芸、工芸品等の作品に日々の活動や作品に込めた思いを記したコメントを添えて展示 NHKハート展 ・全国の障がい者がつづった詩に各界の著名人がハートをモチーフに描いた絵などを添えた作品の展示	2,516	
第54回熊日写真展	11/19 ～ 11/24	6	(株)熊本日日新聞社事業局	県内の写真文化の振興と技術向上を目的に毎年開催。熊日賞の部、新人の部の入選作品109点と招待作家作品を展示	1,800	
第38回熊本県高等学校美術展 第17回熊本県高等学校写生大会優秀作品展	11/26 ～ 12/1	6	熊本県高等学校文化連盟美術部	絵画、デザイン、彫刻、立体、工芸などの作品約240点及び写生大会優秀作品約40点を展示	3,513	
第36回尚綱大学書道展	12/3 ～ 12/8	6	尚綱大学	漢字(各書体)及び仮名の臨書・做書・創作や篆刻・篆書・漢字仮名交じりなど約180点を額・パネル・軸・帖・卷子などに表装して展示	2,097	
第35回RKK学苑総合作品展	12/10 ～ 12/15	6	(株)熊本放送RKK学苑	RKK学苑の各講座で学ぶ受講生の作品展 書・革工芸・絵画・木彫・七宝・パンフラワー・スタンドグラス・染色・和裁・押し花・絵手紙・デジカメ他	713	
第6回韓々坂絵画教室作品展	12/10 ～ 12/15	6	韓々坂絵画教室	デッサン、水彩、油彩等80号～4号までの風景、静物約80点を展示	635	
熊本市立必由館高等学校芸術コース(美術系・書道系)卒業制作展	12/10 ～ 12/15	6	熊本市立必由館高等学校芸術コース	美術系 油絵・日本画・水彩画・デザイン・彫刻・デッサン・テンペラ画など 書道系 漢字・仮名・漢字仮名交じり・篆刻・刻字など 計100点の作品展示 同時に美術・書道科職員の賛助作品も展示	1,472	
第49回熊本県高等学校書道展	12/17 ～ 12/23	7	熊本県高等学校文化連盟書道部	熊本県内約45校の高等学校生徒及び書道担当教師の作品(約350点程度)を展示 作品の種類は漢字、仮名、漢字仮名交じり、篆刻など	3,414	
第16回玄泉全国書道展	1/7 ～ 1/13	7	玄泉書道会	日展会友・入選作家 玄泉成家・師範他 作品の種類 2×8尺(額) 2.6×6尺(額) 半切(軸) 小作品(軸)	2,273	
第67回熊日学童スケッチ展	1/7 ～ 1/13	7	(株)熊本日日新聞社事業局	各賞を受賞された小・中学生達の作品展示会	1,236	
宇野紅子 浜砂ルイ子 二人展	1/15 ～ 1/19	5	浜砂ルイ子 宇野紅子	油彩100号前後20点～25点 小品10点～15点	613	
しんか展	1/15 ～ 1/19	5	熊本パイロットクラブ	絵画	422	
第66回新春創元会熊本支部展	1/15 ～ 1/19	5	創元会熊本支部	油彩画50点	731	
第11回くまもと子どもの美術展	1/21 ～ 2/2	12	熊本県図工・美術教育研究会	熊本県内の小・中学校から選ばれた児童・生徒の平面作品を1400点以上展示	4,580	
2014子どもアトリエ・パレット「輝く子どもの世界」展	1/21 ～ 1/26	6	子どもアトリエ・パレット	水彩画、デザイン、工作など、幼児～小学6年生の子ども約100名の四季折々の作品、夢や空想にあふれた作品等大小約500点展示	1,388	
第39回武蔵野美術大学校友会熊本支部展	1/21 ～ 1/26	6	武蔵野美術大学校友会熊本支部	油絵 水彩 日本画 彫金 彫刻 デザイン その他	1,347	
第18回大野郁子絵画教室展	1/28 ～ 2/2	6	大野郁子	絵画教室生徒と講師の作品 油彩 水彩 パステル他立体作品など100点	765	
第36回水彩連盟熊本支部展	1/28 ～ 2/2	6	水彩連盟熊本支部	水彩連盟熊本支部会員がF40～F130の水彩画作品を約50点展示	1,218	
13江原会美術展	2/4 ～ 2/9	6	江原会美術展実行委員会	日本画 洋画 工芸 デザイン作品あわせて約50点を展示	897	
第23回書初め席書展	2/4 ～ 2/9	6	国際文化交流会	学生学童書道展の金賞以上受賞者を対象にした書初め会の作品	261	
フォトたばっさか写真展	2/4 ～ 2/9	6	フォトたばっさか	全紙パネルや額装にて約80点 四切額装にて約40点 合計120点展示	1,003	
第19回熊本デザイン専門学校卒業制作展	2/11 ～ 2/16	6	熊本デザイン専門学校	卒業制作 平面 立体 映像等の作品を200点程度展示	1,046	
第20回日本高校生デザイングランプリ作品展	2/11 ～ 2/16	6	熊本デザイン専門学校	上位入賞および入選、佳作作品 平面 立体 映像200点前後を展示	399	
第25回大津高校美術コース卒業制作展	2/18 ～ 2/23	6	熊本県立大津高等学校	卒業制作を中心に1・2年生の作品も含めて約90点を展示 油彩 水彩 デザイン 立体作品	631	
第6回卒園記念展幼児画展	2/18 ～ 2/23	6	熊本創美	幼児画の展示	505	
第22回玉名美術協会展	2/18 ～ 2/23	6	玉名美術協会	油絵 水彩 日本画 ペン画 工芸 陶芸等約40点	862	
第33回尚綱大学卒業書作展	2/25 ～ 3/2	6	尚綱大学書道コース18期生	本学書道コース4年生13名が4年間の集大成として卒業書作展を開催 学生約40点と教職員8名の作品も展示	655	
宮竹眞澄 心のふる里人形展	2/25 ～ 3/2	6	宮竹眞澄の人形工房	生活の中で見かけたことのある普通に生きる人々を題材にした素朴で判りやすい人形である 自分自身も含めて多くの人が『心のふる里』を訪ね温かい気持ちになっていただければと始めた最新作を含め50作品(160体)を出展	595	一般 500円 高・大学生 300円 小・中学生 100円
第26回朱土会日本画展	2/25 ～ 3/2	6	朱土会	西村淳先生(日本美術院々友)指導の朱土会会員の作品を発表する年一回の展示会 作品は風景 人物 静物等	888	
熊本大学教育学部美術科卒業・修了制作作品展	3/4 ～ 3/9	6	熊本大学教育学部	油彩画などの絵画約20点 人物をモチーフとした彫刻約10点 木工芸約5点 デザイン約5点 美術教育論 美術理論に関する研究論文をパネル等を用いて掲示	676	
熊本大学教育学部美術科在科生展	3/4 ～ 3/9	6	熊本大学教育学部美術科	絵画 彫刻 デザインなど約50点	598	
第26回熊工会美術展	3/4 ～ 3/9	6	熊工会美術展実行委員会	油絵 水墨画 水彩画 デザイン 写真 書 工芸品など 卒業生 在校生 旧職員 現職員	663	
第32回美術文化熊本支部展	3/11 ～ 3/16	6	美術文化熊本支部	絵画作品展示(油彩 アクリル)	702	
九州脊梁山地の情景	3/11 ～ 3/16	6	フォトサークル脊梁	全紙50枚	724	
にんじん絵画グループ展	3/11 ～ 3/16	6	にんじん絵画クラブ	油絵 静物 風景 心象画等 小作品～100号まで70点の展示	756	
第34回熊本大学教育学部美術科同窓会展	3/18 ～ 3/23	6	熊本大学教育学部美術科同窓会	平面作品36点 立体作品11点 計47点展示	611	
あれから3年 忘れないで 子どもたちの3・11ユニセフ東日本大震災報告写真展	3/18 ～ 3/23	6	熊本県ユニセフ協会	全128枚の写真家、国内報道各社による2011年3月11日の東日本大震災の写真	1,097	
清和小型条幅書初展	3/18 ～ 3/23	6	清和書道会	半切1/4作品 入賞以上の作品600点	615	
第27回国際文化交流会選抜臨書展	3/25 ～ 3/30	6	国際文化交流会	額装 軸装 巻き物 折り帖等80点程度	390	
三人展	3/25 ～ 3/30	6	森本猛	油彩 染色 インスタレーション	502	
のびやかクラブ絵画展	3/25 ～ 3/30	6	のびやかクラブ	油彩 水彩 パステル画	593	
計		349			80,117	
合 計		701			177,022	

分館(ギャラリー)

貸会場事業報告及び観覧者状況

展覧会名	期日	日数	主催者	内 容	入場者数	観覧料
清永律子 ステンドグラス30周年展	4/2 ～ 4/7	6	清永 律子	ステンドグラス ランプ パネル等約50点 デザイン画約15点	1,232	
菊池市合同絵画展	4/9 ～ 4/14	6	中津 賢吾	油絵 日本画	619	
アボア会展	4/16 ～ 4/21	6	熊本県薬剤師会美術同好会	油彩 水彩 コラージュ ししゅう 写真	906	
我-わたし-書道展vol.4	4/23 ～ 4/29	7	西川 加名	尚綱大学書道コースを卒業した7期生有志による書道展 篆・隸・楷・行・草書をはじめとするさまざまな書体、書風で表現している	454	
白梅展(墨美を求めて)	5/1 ～ 5/6	6	荘野 主基子	水墨画 書道	1,181	
深川芳子展「華麗なる布を纏う」	5/8 ～ 5/12	5	榊伊万里	ろうけつ染めの布の作品及び使った作品の展示 実際のろうけつ染めに使う道具の展示 ろうけつ染めの布の製造方法をわかりやすく解説した大判のパネル一式 インドネシア共和国の紹介及び日常生活の紹介	928	
第1回示現会熊本支部公募展	5/14 ～ 5/19	6	一般社団法人 示現会熊本支部	公募作品の展示	2,030	
第3回キルトスタジオTETE作品展	5/21 ～ 5/26	6	キルトスタジオTETE	パッチワークタペストリー 約25点 バッグ 小物等 約20点	1,097	
鋤先翠石遺作展	5/28 ～ 6/2	6	吉本 佐与子	作者47才～86才までに書き残した水墨画の作品の中から数点展示(掛軸・衝立・額等)	722	
のびやかクラブ作品展	6/4 ～ 6/9	6	のびやかクラブ	水彩・油彩画 パステル・ペン画 小品～F100号位迄	888	
フィロール絵画展	6/11 ～ 6/16	6	フィロール	油彩 パステル 色鉛筆 アクリル等の画材で人物 風景 静物を描きコラージュ等で表現したものを展示	548	
写団あけぼの会 第39回写真展「野の花」と「風景」	6/18 ～ 6/23	6	写団あけぼの会	野山に自生する「野の花」の接写を四ツ切額入りにて約30点展示、「風景」写真を全紙額入りにて約20点展示	802	
第35回水彩連盟熊本支部展	6/25 ～ 6/30	6	水彩連盟熊本支部	水彩連盟支部会員がF20号程度の水彩画作品を50点ほど展示	1,699	
第13回ぐるうぶSUN絵画展	7/2 ～ 7/7	6	ぐるうぶSUN絵画クラブ	油彩 水彩 6号～100号まで30点くらい展示	749	
第76回銀光展	7/9 ～ 7/15	7	銀光会	油彩画、水彩画展示	展示室に合算	一般300円 大学生200円 高校生以下無料
水墨アート画楽多展	7/17 ～ 7/21	5	池田 妙子	水墨画他 30～40点 賀寿(傘寿 喜寿 古希 還暦)を迎えた6名の作品を発表	848	
熊本デジカメ倶楽部写真作品展	7/23 ～ 7/28	6	熊本デジカメ倶楽部	熊本デジカメ倶楽部会員が撮影した県内外の風景や祭り、ポートレート等いろんなジャンルの写真	761	
泗水絵画クラブ第10回記念展	7/30 ～ 8/4	6	泗水絵画クラブ	油絵 F100～F60 13点 F30～F4 20点	1,012	
第27回日洋展九州・熊本会場	8/6 ～ 8/11	6	日洋会熊本支部	基本作品(巡回)約80点(油彩100号～130号) 九州からの出品者(油彩 水彩100～120号)	展示室に合算	一般600円 大学生400円 高校生以下無料
第26回GROUP-愚-作品展	8/13 ～ 8/18	6	GROUP-愚-	書作品20点程度展示	773	
第6回岩本武士(竹田)書作品	8/20 ～ 8/25	6	岩本 武士	漢字 調和体 かな 書画作品など 額装 パネル 軸装を自作で展示	872	
第26回彫塑グループ `88展	8/27 ～ 9/1	6	彫塑グループ `88会	FRP 、木などを素材とした彫刻を展示 人体などの具象彫刻や抽象彫刻など20名ほどの作家が思い思いのテーマで制作した作品を展示	476	
第35回熊本県書道展	9/3 ～ 9/8	6	熊本書法文化振興会	漢字・かな・近代詩文書・小字数書・篆刻・刻字・前衛書の7部門に加えて自由発想部門の計8つの部門の書道展	展示室に合算	
第68回 熊本県美術協会展(県美展)	9/10 ～ 9/16	7	熊本県美術協会	日本画 版画 デザイン 彫刻 会員 会友 一般を含め約300点を展示	展示室に合算	一般・大学生500円 高校生以下無料
第36回いちょうの会絵画展	9/18 ～ 9/23	6	いちょうの会	県庁OBの絵画同好会会員16名の絵(油、水彩等)30点の展示発表会	576	
第79回東光会巡回展	9/25 ～ 9/29	5	東光会熊本支部	東光会会員・会友の油彩、水彩、版画と一般公募作品を合わせ150余点の展示 第6回全国小品部門コンクール選抜作品の熊本県出品者20余点の展示	展示室に合算	一般 500円 大高生 300円 中学生以下、障がい者無料
第5回パソコン・アート作品展	10/1 ～ 10/6	6	熊本パソコン・アート倶楽部	パソコンで描くアートの作品展 ①水彩画 ②絵手紙	655	
河原律子個展(青木繁入賞記念)	10/8 ～ 10/14	7	河原 律子	油絵	1,776	
漣会展	10/16 ～ 10/20	5	漣会	日本画 100号以内 30数点	891	
熊日生涯学習日本画教室展	10/22 ～ 10/27	6	熊日生涯学習日本画教室	日本画	1,131	
神戸國・阿蘇(写真展)	10/29 ～ 11/4	7	井上 みさほ	カラー写真46点	1,202	
第40回学生学童書道展	11/6 ～ 11/10	5	国際文化交流会	小学生から高校生大学生までの書道展	展示室に合算	
第49回熊本県水彩画会展	11/12 ～ 11/17	6	熊本県水彩画会	熊本県水彩画会展に応募された入選作品100点並びに熊本県水彩画会の会員会友の作品115点合計215点を展示	展示室に合算	一般300円 大学生200円 高校生以下無料
第6回輪の会作品展	11/19 ～ 11/24	6	輪の会	油彩 水彩 版画 水墨画 25点	1,031	
花の会「くまもと」写真展	11/26 ～ 12/1	6	花の会「くまもと」	花(花そのものや花のある写真まで幅広く撮影)の写真を全紙額装にて約60点	721	
北部公民館絵画グループ展	12/3 ～ 12/8	6	北部公民館絵画グループ	油彩画 水彩画 パステル画	601	
熊本市立必由館高等学校芸術コース(美術系・書道系)卒業制作展	12/10 ～ 12/15	6	熊本市立必由館高等学校芸術コース	美術系は油絵 日本画 水彩画 デザイン 彫刻 デッサン テンペラ画など 書道系は漢字 仮名 漢字仮名交じり 篆刻 刻字など計約100点展	展示室に合算	
第49回熊本県高等学校書道展	12/17 ～ 12/23	7	熊本県高等学校文化連盟書道部	熊本県内約45校の高等学校生徒及び書道担当教師の作品(約350点程度)を展示 作品の種類は漢字 仮名 漢字仮名交じり 篆刻など	展示室に合算	
第16回玄泉全国書道展	1/7 ～ 1/13	7	玄泉書道会	日展会友・入選作家、玄泉成家・師範他の作品を展示。 2×8尺(額)、2.6×6尺(額)、半切(軸)、小作品(軸)	展示室に合算	
三嶋書展	1/15 ～ 1/19	6	三嶋会	書道作品	531	
東光会会員6人展	1/21 ～ 1/26	6	尾崎史典	具象絵画の油絵で100号18点 他最近作の展示	1,531	
第42回「へちま」俳画展	1/28 ～ 2/2	6	熊本市中央公民館俳画教室「へちま」	色紙絵70点程度 渋団扇30点程度展示	921	
高濱虎喜歿後50年回顧展	2/4 ～ 2/9	6	栗田素子	日本画	1,202	
グループ茜展	2/11 ～ 2/16	6	グループ茜	約20名の会員の純具象の油彩画約60点(F50号以下)の展示 講師の賛助作品も展示	538	
NHK文化センター熊本教室写真講座作品展	2/18 ～ 2/23	6	NHK文化センター熊本教室写真講座	受講生の写真作品約60点を展示	778	
響展Vol.8-尚綱大学11期卒業生-	2/25 ～ 3/2	6	宮田 利沙	尚綱大学書道コース卒業生による書道展 漢字 仮名 調和体 篆刻など合計30点ほど展示	520	
豊 百合書作展	3/4 ～ 3/9	6	豊 百合	書作品約10点	302	
耕墨会作品展	3/11 ～ 3/16	6	耕墨会	中国水墨画	641	
シェーンブルン絵画教室展	3/18 ～ 3/23	6	シェーンブルン絵画教室	透明水彩画40点	981	
アートクラブG&V	3/25 ～ 3/30	6	アートクラブG&V	油絵 水彩画	523	
計		302			35,649	

分館(展示室1・2・3 ギャラリー)

合計

		1,003			212,671	
--	--	-------	--	--	---------	--

本館・分館 総合計

		1,156			294,457	
--	--	-------	--	--	---------	--

■収蔵品の概要

熊本県立美術館の収集方針・収集計画

熊本県立美術館は、古今東西の美術品等の展示・収集・保存・研究等を目的に設置された総合美術館として、(1) 日本及び東洋の古美術、(2) 日本の近・現代美術、(3) 西洋美術についての収集を、次の各項目の方針等に基づいてすすめる。

収集にあたっては、①散逸あるいは滅失の危険のある、熊本県内の美術品・文化財等の収集及び保存、②本県出身あるいは本県ゆかりの作家等の作品など、熊本県の美術史の流れを展望するための美術品の収集、③世界的な視野で美術の流れを広く展望することのできる作品の収集について、特に留意するものとする。

1 日本および東洋の古美術

古代から近世に至る熊本の美術・文化・歴史の流れを展望できるコレクションの形成を目指す。

- (1) 古代・中世の熊本にゆかりのある美術品
 - ① 彫刻（仏神像など）
 - ② 絵画（仏画など）
 - ③ 工芸品（染織品や能道具、刀剣など）
 - ④ 書蹟・墨蹟
- (2) 近世の熊本にゆかりのある美術品
 - ① 絵画（御用絵師や文人などの作品）
 - ② 工芸品（八代焼・小代焼などの陶磁器、刀剣や刀装具などの金工品、漆芸品、皮革・染織品など）
 - ③ 書蹟・墨蹟
 - ④ 加藤家・細川家ゆかりの美術品や資料
- (3) 熊本の美術・文化・歴史に影響を与えた作家・人物・地域にゆかりの美術品や資料
- (4) 熊本の美術・文化・歴史の展開を鑑賞・検証するために有効な資料

2 日本の近・現代美術

本県を代表する作家の作品を核に、日本の近・現代美術史を体系づけるコレクションおよび熊本の美術史を体系化しうるコレクションの形成を目指す。

- (1) 熊本ゆかりの作家による近・現代洋画・日本画・版画・工芸・彫刻・デザイン・写真等の作品や資料
 - ※なお、本県を代表する作家に関しては、デッサン・スケッチブック・書簡などの資料に関しても「研究資料」として積極的に収集を行うものとする。
 - ※浜田知明作品に関しては、全作品の収集を目指す。
- (2) 熊本を代表する近・現代作家に大きな影響を与えた作家の作品
- (3) 近・現代美術史に大きな足跡をのこした作家による作品
- (4) 当館における既存のコレクションを拡充・補完する上で必要な作品や資料
 - ① 今西コレクションの近代版画・工芸・人形
 - ② 細川コレクションの近代洋画・日本画
 - ③ その他一括して収集されたコレクション
- (5) 日本の近・現代版画

- ① 近代版画の動向を示す作品
- ② 戦後美術の版画表現に重要な足跡を残した版画家の作品
- ③ 今日の美術における版画表現の動向を示す作品
- ④ 上記の作品に関連する資料

3 西洋美術

フランスの近代絵画、西洋版画（古典～近代～現代）、近・現代彫刻の作品を核に、西洋美術コレクションの体系化を目指す。

（1） フランスの近代絵画

① 印象派と 19 世紀フランス絵画

印象派やその周辺、アカデミー派（サロン派）など、19 世紀フランス絵画の局面を紹介する作品収集を図り、ルノワール等の所蔵品を補完する作品

② エコール・ド・パリと藤田嗣治（レオナール＝ツグハル・フジタ）

エコール・ド・パリやその周辺の動向など、20 世紀前半のフランスを舞台に活動した芸術家たちの系譜と交流の軌跡を辿る作品。特に本県とゆかりの深い藤田嗣治（レオナール＝ツグハル・フジタ）は重点的収集を目指す。

（2） 西洋版画の系譜の体系化

① 16 世紀から 18 世紀までの古典版画（Old Master Print）

② 19 世紀から 20 世紀前半までの近代版画（Modern Print）

③ 20 世紀後半以降の現代の版画動向を示す作品（Contemporary Print）

（3） 近・現代の西洋彫刻

① 近代フランスの彫刻

ロダン以降の近代彫刻史に大きな足跡を残した彫刻家の作品

② 現代の彫刻

20 世紀後半以降の現代彫刻の動向を展望することのできる作品

（4） 上記の項目に関連の深い優れた西洋美術の作品や資料

4 優れた質と内容を有し、纏まった形で収集されたコレクション

□ 平成25年度美術品収集品目

■ 購入作品 (平成25年度)

	作品名	作者名	種別	寸法(cm)	制作年
1	花・蝶	中山 巍	油彩画	65.2×53.0	1939(昭和14)年
2	静物	坂本善三	油彩画	60.0×50.0	1955(昭和30)年
3	麦藁帽子を被ったマルグリット	アンドレ・ロート	油彩画	81.0×65.0	1920-1929年
4	能面 白式尉 能面 黒式尉		木造彩色	白式尉 18.6×15.6 黒式尉 17.4×15.6	白式尉：室町時代後期 (15～16世紀) 黒式尉：桃山時代 (16世紀)
5	豊臣秀吉朱印状 加藤清正宛		紙本墨書	22.2×56.0	慶長2年(1597)
6	綿考輯録		紙本墨書	各26.2×19.6	江戸時代後期
7	藩譜便覧		紙本墨書	各24.0×18.4	江戸時代後期～ 明治初期

■ 寄贈作品 (平成25年度)

	作品名	作者名	種別	寸法(cm)	制作年
1	6.26大被害スケッチ 20点	松田澄夫	素描	各約25.0×35.0	1953(昭和28)年

■ 寄託作品 (平成 25 年度)

	作品名	作者名	種別	寸法 (cm)	制作年
1	(重要文化財) 寒巖義尹文書(6点)	寒巖義尹	紙本墨書		鎌倉時代(13世紀)
2	(熊本県指定文化財) 雀竹図	愚溪右恵	紙本墨画		南北朝時代(14世紀)
3	(熊本県指定文化財) 出山釈迦図・観世音菩薩図	福田太華	紙本著色		天保12年(1841)
4	室原家文書 (62件)		紙本墨書		室町時代(16世紀) ～明治時代(19世紀)

寄託作品 1～3 は大慈寺所蔵、4 は室原家所蔵

□ 収蔵品一覧表（平成26年3月31日現在）

区 分		県 有 美 術 品									寄 託 品			合 計		
		購 入			寄 贈			小 計								
		24年度 までの 購 入	25年度 購 入	小 計	24年度 までの 寄 贈	25年度 寄 贈	小 計	24年度 までの 計	25年度 計	小 計	24年度 までの 寄 託	25年度 寄 託	小 計	24年度 までの 計	25年度 計	計
日本 古美術	絵 画	182		182	293		293	475		475	262	3	265	737	3	740
	書 跡	198	3	201	176		176	374	3	377	156	2	158	530	5	535
	彫 刻				1		1	1		1	28		28	29		29
	工芸(陶磁)	104		104	67		67	171		171	20		20	191		191
	工芸その他)	6	2	8	226		226	232	2	234	526		526	758	2	760
	考 古										9		9	9		9
	その他				4		4	4		4	6		6	10		10
	計	490	5	495	767		767	1,257	5	1,262	1,007	5	1,012	2,264	10	2,274
日本 近現代	油彩画	113	2	115	414		414	527	2	529	15		15	542	2	544
	版 画	275		275	592		592	867		867	4		4	871		871
	デッサン	45		45	281	1	282	326	1	327	2		2	328	1	329
	彫 刻	69		69	18		18	87		87	4		4	91		91
	工 芸	105		105	112		112	217		217	1		1	218		218
	日本画	176		176	155		155	331		331	17		17	348		348
	水彩画	16		16	105		105	121		121	4		4	125		125
	その他	2		2	92		92	94		94				94		94
	計	801	2	803	1,769	1	1,770	2,570	3	2,573	47		47	2,617	3	2,620
東 洋	絵 画	10		10	1		1	11		11	1		1	12		12
	書 跡	2		2	2		2	4		4				4		4
	彫 刻				1		1	1		1	1		1	2		2
	工 芸	12		12	12		12	24		24				24		24
	考 古				110		110	110		110				110		110
	計	24		24	126		126	150		150	2		2	152		152
西 洋	油彩画	8	1	9	3		3	11	1	12	3		3	14	1	15
	版 画	213		213	55		55	268		268				268		268
	デッサン	2		2	1		1	3		3				3		3
	彫 刻	8		8	1		1	9		9				9		9
	水彩画	4		4	4		4	8		8				8		8
	計	235	1	236	64		64	299	1	300	3		3	302	1	303
合 計		1,550	8	1,558	2,726	1	2,727	4,276	9	4,285	1,059	5	1,064	5,335	14	5,349

□ 平成25年度美術品貸出記録（館蔵品）

作家名	作品名	貸出先	展覧会名	展覧会会期
藤田嗣治 (レオナルド・ダ・ヴィンチ・フジタ)	ヴァイオリンを持つこども	株式会社ブレントラスト 静岡市美術館 北九州市立美術館 美術館「えき」KYOTO	レオナルド・ダ・ヴィンチとパリ 1913-1931	2013・4/20～ 2014・4/6
ジュール・パスキン	果物籠を持つジュヌヴィエーヴ	秋田県立美術館 岡山県立美術館		
海老原喜之助	28年水害スケッチ (21点)	株式会社熊本放送	海老原喜之助と弟子が描いた6・26大水害スケッチ展	2013・5/1～5/6
	美人観月図			
川又常正	見立浄瑠璃姫と牛若丸図			
至信	見立玄宗図			
宮川一笑	雪中男女図			
月岡雪鼎	牽牛織女図	佐賀県佐賀城本丸歴史館	愛のかたち —書画にこめた想い—	2013・7/26～10/14
鳥文斎栄之	桜花美人逍遥図			
歌川豊国	遠眼鏡美人図			
歌川広重	立美人図			
横山大観	雲去来 焚火 老子 野の花	横浜美術館 朝日新聞社	横山大観展 良き師、良き友 —紫向、未醒、芋銭、溪仙—	2013・10/5～11/24
海老原喜之助	人形使い			
海老原喜之助	阿蘇			
相嶋崇人	雲烟阿蘇			
生田義広	大カンテラ			
磯谷精一	甦る情景			
板井榮雄	12の並んだ果実たち			
上村隆一	集合離散			
梅本妙子	弧(球)			
大森キミ子	リンゴのかおり			
鎌田勝美	漁師と海			
國領経郎	砂丘			
坂田燦	倒れる			
下田悌三郎	TO-MOR-ROW 2009			
芹川光行	六色の函			
千賀友子	虚構の場 I			
千賀友子	虚構の場 II			
曾田豊子	TOYOKOの世界			
田中憲一	廃船 A			
田中憲一	骸 A			
広吉研介	鮭			
松下能也	海へつづく道			
松下能也	海辺の路地			
宮崎静夫	黒点			
村上賢秀	骨			
本嶋豊	仄めく心象の風景			
本山正喜	鯉			
矢田道也	郷愁			
山口輝也	昼(空と水)			
吉家研二	赤秀(アコウ)			
浜田知明	噂	熊本市立向山小学校	浜田知明《噂》鑑賞会	2013・11/13

■購入図書目録 [平成25年度]

<購入図書> ※備品購入費による

書名	編・著者名	発行所	発行年
日本史・伝記			
鍋島直正公傳 揃	中野礼四朗ほか	侯爵鍋島家編纂所	1920 年
佐賀藩の総合研究 正統二冊	藤野保	吉川弘文館	1981、87 年
近現代美術			
巴里新興美術展覧会目録		東京府美術館	1932 年
超現実主義と絵画	アンドレ・ブルトン／瀧口修三	厚生閣書店	1930 年
戦時下日本美術年表	飯野正仁	藝華書院	2013 年
絵画・彫刻			
中国絵画総合図録 三編 第一巻	小川裕充、板倉聖哲	東京大学出版会	2013 年
日本彫刻史基礎資料集成 鎌倉時代造像銘記篇 9	水野敬三郎	中央公論美術出版	2013 年
美術史歴参	百橋明穂先生退職記念献呈論文 集刊行委員会	中央公論美術出版	2013 年

<友の会から寄贈された図書>

書名	編・著者名	発行所	発行年
日本の甲冑	京都国立博物館 / 編	京都国立博物館	1989 年
日本鐔の美	アーサー・H・チャーチ	光芸出版	1970 年
錦絵の彫と摺	石井研堂	芸艸堂	2005 年
Pablo Picasso Tome2 Catalogue de l'oeuvre grave et lithographie 1966-1969	Georges Bloch	Klipstein, Berre	1971 年
元寇と季長絵詞	桜井清香	徳川美術館	1957 年
三岸好太郎全画集		朝日新聞社	1983 年
西洋絵画作品名辞典	木村三郎ほか / 編	三省堂	1994 年
藤田嗣治とエコール・ド・パリ	ノーベル書房 / 編	ノーベル書房	1984 年
猫と女とモンパルナス	藤田嗣治	ノーベル書房	1968 年
襲嘔 ふたたび虹のかなたに	楠見清ほか / 編	Epjp/ePublishing Jp	2012 年
虹・虹	襲嘔	阿部出版	2000 年
日本石造物辞典	日本石像物辞典編集委員会	吉川弘文館	2012 年

■委員会等名簿

□ 熊本県立美術館協議会委員名簿

平成26年3月31日現在

氏 名	役 職 名
河 島 一 夫	熊本県立美術館友の会世話人
小 出 史	有限会社ソルト・ファーム代表取締役
小 林 孝 夫	熊本県美術協会副会長
小 宮 恵 子	株式会社熊本放送テレビ局テレビ編成業務部
副 島 隆	株式会社お菓子の香梅代表取締役会長
曾 田 豊 子	画家
高 野 洋 介	前熊本県議会教育警察常任委員会委員長
日 吉 亜由美	熊本県PTA連合会副会長
◎ 松 井 葵 之	八代市立博物館未来の森ミュージアム館長
宮 崎 不二男	熊本県図画工作・美術教育研究会長（熊本市立松尾東小学校校長）
宮 瀬 美津子	熊本大学教育学部准教授
山 口 一	熊本県高等学校教育研究会美術、工芸部会理事長（県立松橋高等学校教諭）

（五十音順、◎委員長）

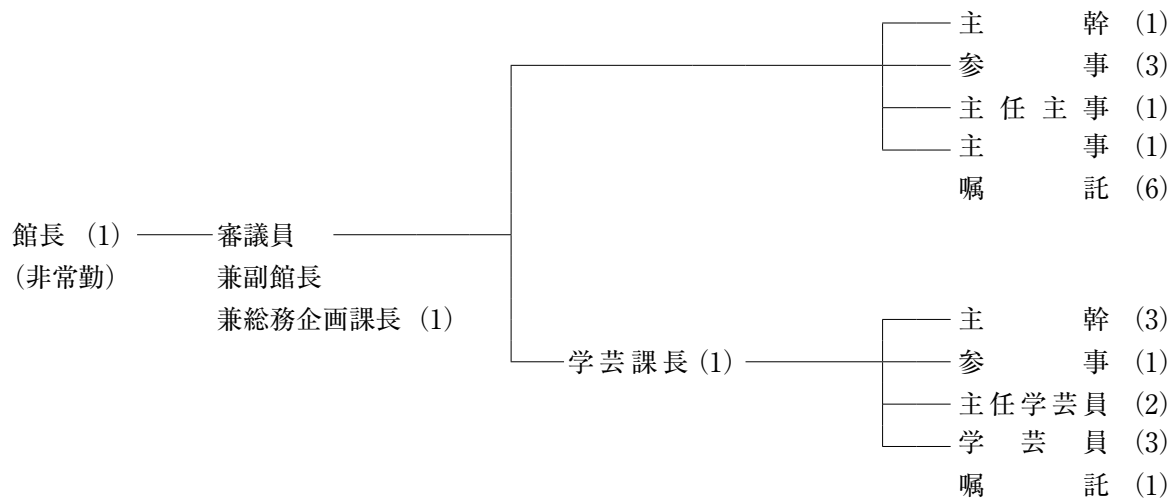
□ 熊本県立美術館収集委員会委員名簿

平成26年3月31日現在

氏 名	役 職 名
後小路 雅 弘	九州大学人文科学研究院教授
浦 上 雅 司	福岡大学人文学部教授
後 藤 新 治	西南学院大学国際文化学部教授
小 林 法 子	福岡県文化財保護審議員
◎ 島 田 真 祐	公益財団法人島田美術館長
中 西 真美子	崇城大学芸術学部職員
春 口 光 義	画家、熊本県美術家連盟会長、熊本学園大学名誉教授
森 山 秀 子	公益財団法人石橋美術館学芸課長

（五十音順、◎委員長）

□ 熊本県立美術館の機構及び職員数（平成26年3月31日現在）



□ 美術館職員名簿（平成26年3月31日現在）

氏 名	職 名	氏 名	職 名
横田 堅	館長（非常勤）	山田 貴司	主任学芸員
前田 春久	審議員兼副館長兼総務企画課長	林田 龍太	主任学芸員
矢野 靖浩	主幹	金子 岳史	学芸員
小原美奈子	参事	才藤あずさ	学芸員
大丸 里美	参事	宮川 聖子	学芸員
大村 理砂	参事	浦 ひとみ	嘱託
福島由佳里	主任主事	島村 佳絵	嘱託
吉川 淳子	主事	愛甲 未菜	嘱託
中村 玲史	学芸課長	岩木 美里	嘱託
有木 芳隆	主幹	赤星 博	嘱託
村上 哲	主幹	宮下 愛	嘱託
森本 猛	主幹	高森 莊子	嘱託
井上 正敏	参事		

■その他

□熊本県立美術館友の会の活動

美術館友の会は、県立美術館の活動を援助し、美術館の充実と地域文化の向上に寄与することを目的として、昭和 50 年 5 月に発足した。

友の会は県立美術館開館以来美術関連図書などを購入し、調査研究等に貢献してきている。会員は、友の会会員証で、現在は県立美術館をはじめとする 6 館において開催される展覧会を各 1 回鑑賞することができる。また、県立美術館所蔵図書の閲覧ができるほか、機関誌「View」や友の会のお知らせを受け取ることができる。

特典

① 次の美術館に無料入場できる。(但し、1 展覧会 1 回。展示替えの場合はもう 1 回入場できる。)

熊本県立美術館、熊本市現代美術館、坂本善三美術館、つなぎ美術館、不知火美術館
島田美術館、芦北町立星野富弘美術館

② 熊本県立美術館の展覧会図録の開催期間内購入 2 割引

③ 熊本県立美術館の本館・分館喫茶室 割引有

④ 友の会企画旅行に参加できる。

会員数 (平成 26 年 2 月現在) 585 名 (会員証: 701 枚)

A 会員	76 組	会費	10,000 円	(会員証 2 枚 本人 1 枚、家族用 1 枚)
B 会員	470 人		5,000 円	(会員証 1 枚 本人)
C 会員	10 社		30,000 円 以上	(会員証 5 枚 会社名義)
D 会員	29 人		3,000 円	(学生会員)

活動状況

・機関誌「View」4 回発行 (美術館との共同編集)

・図書購入・寄贈

『日本人形史』、『日本の伝統文様 染織』、『PASCIN』、『戦争と美術 1937 - 1945』など 11 冊

・ボランティア活動支援

・海外美術館巡りの旅 「ドイツ・スイス美術の旅」

ベルリン (旧国立美術館、絵画館、新国立美術館、ベルガモン美術館)、フランクフルト (シュテーデル美術館)、ミュンヘン (アルテ・ピナコテーク、ノイエ・ピナコテーク)、チューリヒ (ピュールレ・コレクション)、ウインタートゥール (オスカー・ラインハルト美術館など) など

期間: 5 月 18 日～27 日 (9 泊 10 日間)

・国内美術館巡りの旅 「瀬戸内海・大塚美術館と高松・鳴門の旅」

地中美術館、イサム・ノグチ庭園美術館、平山郁夫美術館、猪熊弦一郎現代美術館、大塚国際美術館など。

期間 10 月 4 日～6 日 (2 泊 3 日)

・次年度からの海外旅行についてアンケート実施

・次年度会員拡大に向けて「熊本県立美術館友の会」案内チラシ (A 4 両面カラー) の作成配布

平成 25 年度役員

代表世話人 福田 稠

副代表世話人 松木良介、平井勝典 (事務局)

監 事 板井榮雄、渕上 済

世話人 横田堅、坂田 燦、河島一夫、河島美智奈、二子石義之、浜砂ルイ子、高田浩子、村上了一、小坂 肇、林田 勉、池田耕一、森本清子

名誉世話人 樋口欣一、芹川光行

□美術館案内

熊本県立美術館本館 Kumamoto Prefectural Museum of Art

所在地：熊本市中央区二の丸2番 〒860-0008

Tel 096-352-2111 Fax 096-326-1512

開館時間：午前9時30分～午後5時15分（入館は午後4時45分まで）

交通案内：バス／交通センターから徒歩15分

またはセンターで熊本城周遊バスに乗り換え、「熊本城二の丸駐車場」下車、徒歩3分

市電／「熊本城・市役所前」または「花畑町」下車、徒歩15分

JR／熊本駅から熊本城周遊バスで「熊本城二の丸駐車場」下車、徒歩3分

上熊本駅からタクシーで10分

熊本空港／空港バスで交通センターへ。センターから徒歩15分

またはセンターで熊本城周遊バスに乗り換え、「熊本城二の丸駐車場」下車、徒歩3分

駐車場／二の丸駐車場（有料）、三の丸駐車場（有料）

休館日：月曜日（祝日・休日の場合はその翌日）、年末年始 他

熊本県立美術館分館 Kumamoto Prefectural Museum of Art, Chibajo Branch

所在地：熊本市中央区千葉城町2-18 〒860-0001

Tel 096-351-8411 Fax 096-351-8566

開館時間：火曜～金曜／午前9時30分～午後6時30分（入館は午後6時まで）

土日祝日・休日／午前9時30分～午後5時15分（入館は午後4時45分まで）

交通案内：バス／「市役所前」下車、徒歩5分

または熊本城周遊バスで「県立美術館分館前」下車

市電／「熊本城・市役所前」下車、徒歩5分

休館日：月曜日（祝日・休日の場合はその翌日）、年末年始 他

インターネットアドレス <http://www.museum.pref.kumamoto.jp>



平成 25 年度 熊本県立美術館年報

発行日	平成 26 年 12 月 12 日
発行者	熊本県立美術館 〒860-0008 熊本市中央区二の丸 2 番
	TEL(096)352-2111 FAX(096)326-1512
印刷所	社会福祉法人 熊本県コロニー協会
